

消防年報

平成29年版

第62号



シンボルマーク 「ファイ太くん」

瀬戸市消防本部

はじめに

平成28年4月に発生した熊本地震では、2度にわたる震度7の強い揺れにより、同地域一帯が甚大な被害を受けるなど、自然災害の脅威を目の当たりにし、自然災害に対する防災・減災の重要性を再認識させられました。

また、12月に発生した新潟県糸魚川市大規模火災では、強風や飛び火により約40,000平方メートルが焼失するなど、木造建物が密集した地域において、取り組むべき、火災予防、消防活動、消防体制等の充実強化のあり方について、再検討させられました。

これから迎える超高齢化社会などの様々な社会的背景から見ても、このような大規模かつ広域的な災害に対しては、防火防災関係機関や地域の枠組みを越えた協力体制を確立することが、防火・防災のためには必要不可欠であると言えます。

本市はこれからも、消防力及び消防体制の充実強化に努め、火災などの災害を未然に防止するだけでなく、自然災害への万全の備えによって、安全・安心が実感できるまちづくりに全力を挙げて取り組んでまいります。

この年報は、平成29年4月1日現在における消防体制並びに、平成28年中の災害状況等を収録し、今後の消防行政の効率的な運営と消防力の強化に資するとともに、消防事情を一般に紹介することを目的に編集したものです。



消防関係者はもとより、市民一人ひとりにこの年報をご活用いただければ幸いです。

平成29年7月

瀬戸市消防本部





一 目 統 計




平成29年4月1日現在

面積・人口等 自然環境	面積	人口	世帯	気象(H28年中) P49
				
	111.40 km ²	130,298 人	54,916 世帯	年平均気温 16.4℃ 年平均湿度 72.4 % 年間降水量 1,668 mm

消 防 予 算 構 成 人 員	消防予算 P1	署所数 P5	職員数 P6	団員数 P7
				
	12億5,627万円 市民一人当たり 9,641円	消防本部 1 消防署 1 分署 2	125人 (内女性2人)	268人 (内女性18人)

消 防 車 両 水 利	ポンプ車等 P5	特殊車両等 P5	救急車 P5	水利 P16
				
	タンク車3台 ポンプ車4台	はしご車等14台	高規格救急車4台	消火栓 2,963基 防火水槽等 526基 (その他の水利を含む)

災 害 件 数 (H28年中)	火災 P26	主な火災原因 P27	救急 P36	救助 P44
				
	36件 出火率2.8件/万人	たきび6件 放火・放火の疑い3件 たばこ2件 こんろ2件	出動件数5,304件 搬送人員5,063人	出動件数54件 救助人員26人

予 防 消 防 関 係 団 体	防火対象物 P17	査察実施率 P18	危険物施設 P20	消防関係団体 P22-24
				危険物安全協会 319 会 員 自衛消防連絡協議会 16 事業所 婦人防火クラブ 10 クラブ 少年消防クラブ 30 クラブ 幼年消防クラブ 26 クラブ
	4,622 件	20.6%	製造所 3 件 貯蔵所 222 件 取扱所 110 件	

平成28年度目標達成指標

指標	単位	基準値	目標値	実績値
出火率	件	5.2	4.0	2.8

※ 出火率とは、人口1万人当たりの火災件数をいう。

(P26参照)

指標	単位	基準値	目標値	実績値
救命率	%	20.0	26.0	16.7

※ 救命率とは、目撃のある突然心肺停止及び除細動が必要な心電図波形（Vf・脈のないVT）である救急患者のうち、1か月後に社会復帰できた割合をいう。

(P42参照)

指標	単位	基準値	目標値	実績値
消防団員数	人	228	272	251 ※

※ 平成29年3月31日現在（4月1日現在253名）

指標	単位	基準値	目標値	実績値
消防水利の充足率	%	98.0	98.7	98.6

(P16参照)

指標	単位	基準値	目標値	実績値
火災による損害額	千円	120,601	106,800	40,556

(P26参照)

平成28年度のトピックス

1 放火による火災が2年連続、過去10年間で最少に！！

平成28年中に瀬戸市で発生した火災は36件で、昭和45年から記録を始めて以来、最少であった平成27年に次いで、2番目に少ない火災件数となりました。

火災による死者は、発生しませんでした。負傷者が5名発生しました。

放火・放火による疑いは、安心・安全パトロールの成果などにより、昨年と同数の3件で、過去10年間で最少となりました。

全国的にも件数が多い、放火、たばこ、コンロによる火災の防止対策を継続するとともに、住宅火災による高齢者の死傷者が多いことから、高齢者に対する住宅防火対策に取り組む必要があります。

2 東分署のポンプ車を更新

平成11年から運用していた東分署のポンプ車を、最新の車両に更新しました。

新型車両は、最新資機材を積載するほか、高輝度の反射材の採用による視認性の向上、収納扉のオールシャッター化による落下防止など、安全管理面も向上させています。



3 山口分団・女性分団の設立

山口連区及び八幡台の地域防災力を充実強化するために、平成28年4月1日に新たに山口分団を設立しました。

また、女性団員の活躍を推進し消防団の活性化を図るため、平成28年同日、女性分団（愛称：Seto つばき）を設立しました。

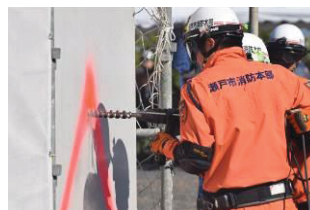
女性団員は、平成17年から団本部に所属し、心肺蘇生法の指導や防火防災講話などの普及啓発活動を行ってきましたが、組織が強化されるとともに女性の視点による新たな取り組みの展開が期待されます。



4 緊急消防援助隊が瀬戸市に集結

大規模災害に対応できるよう部隊の集結訓練及び実践的な部隊運用訓練を実施し、より迅速かつ効率的な活動を実現させるため、瀬戸市市民公園で緊急消防援助隊愛知県大隊合同訓練を行いました。

愛知県内の消防本部から消防車約40台、航空部隊のヘリコプター2機、災害医療チーム、瀬戸市消防団、瀬戸旭看護学生等が参加しました。



5 住宅密集区域における消防力の増強

平成28年12月に新潟県糸魚川市の住宅密集区域で発生した大規模火災を受け、住宅密集区域における建物火災発生時の出動体制を強化しました。

また、アーケードをはじめとした住宅密集区域での火災を想定し、朝日町防災会、末広町防災会と連携して、消防訓練を実施しました。



6 深川分団詰所が完成

昭和35年に建築してから56年が経過し、老朽化した深川分団詰所の建て替え工事が完了しました。

新設の詰所は、消防分団の詰所とは思えないほどモダンな外観で、多目的会議室や非常電源、雨水タンク等の地域防災拠点機能を盛り込み、消防団詰所の充実強化を図りました。



目 次

【第1編】消防情勢（P1～10）

・5年間の市当初予算等と消防費	1
・平成28年度一般会計当初予算額	1
・平成28年度消防費の市民負担額	1
・消防本部・消防署・消防団組織図	2
・消防本部消防課の事務分掌	3
・消防署の事務分掌	4
・消防力の整備指針と現有消防力	5
・消防職員数	6
・消防団員数	7
・消防職員・団員数の推移	7
・消防職員・団員の平均年齢の推移	7
・消防職員派遣教養科目別実施状況	8
・消防職員研修実施状況	8
・消防職員・団員公務災害等発生状況	8
・消防本部車両運用状況	9
・消防団活動状況、ガンバレ消防団応援事業所	10

【第2編】消防施設（P11～16）

・消防庁舎等設置状況	11
・消防車両等配備状況	12
・主な消防機器保有状況	14
・水防用資機材備蓄状況	15
・消防水利設置状況	16

【第3編】予防（P17～25）

・連区別防火対象物状況	17
・中高層建築物・地階用途別状況	18
・査察実施率の推移	18
・防火管理者選任状況	19
・防火管理講習実施状況	19
・危険物施設等連区別設置状況	20
・危険物施設に関する申請等の件数	20
・危険物施設等の10年間の推移	21
・消防関係団体	
・瀬戸市危険物安全協会	22
・瀬戸市自衛消防連絡協議会	22
・瀬戸市婦人消防隊連絡協議会	23
・瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会	23
・瀬戸市幼年消防クラブ	24
・防災会	24
・わんわん消防隊、救急安心たまご	25

【第4編】火災統計（P26～35）

・平成28年中の火災発生状況と前年との比較	26
・原因別・用途別火災状況	27
・初期消火実施状況調	27

・ 出火原因別（発火源・経過・着火物）火災発生件数	28
・ 署所別・連区別火災状況	29
・ 曜日別・月別火災状況	30
・ 天候別火災状況	30
・ 時間別火災状況	31
・ 10年間の火災状況	32
・ 10年間の出火件数と住宅火災件数及び損害額の推移	32
・ 10年間の住宅火災の状況	33
・ 10年間の住宅火災における出火原因別件数	33
・ 10年間の住宅火災における時間別死傷者数	34
・ 10年間の住宅火災における年齢別死傷者数	34
・ 10年間の主な火災	35

【第5編】救急・救助統計（P36～45）

・ 事故種別救急出動件数及び搬送人員	36
・ 署所別救急出動件数	37
・ 連区別の老年人口率と救急搬送率	37
・ 曜日別・月別救急出動件数	38
・ 時間別救急出動件数	38
・ 傷病程度別搬送人員	39
・ 年齢区分別搬送人員	39
・ 急病にかかる疾病分類別搬送人員調	40
・ 事故種別医療機関別搬送人員調	40
・ 救急隊員の行った応急処置状況	41
・ 応急手当普及啓発実施状況	41
・ 救命率の推移	42
・ バイスタンダーCPR実施状況	42
・ AEDステーション認定事業所数	42
・ 10年間の現場到着平均所要時間の推移	42
・ 10年間の救急出動件数	43
・ 急病・交通・一般負傷の出動件数10年間の推移	43
・ 事故別救助出動状況	44
・ 連区別救助出動件数	44
・ 発生場所別救助人員	45
・ 10年間の救助出動件数	45

【第6編】通信・気象（P46～49）

・ 消防指令センターの主な施設状況	46
・ 月別119番受信状況（受信時の種別）	46
・ 無線施設状況	47
・ 月別気象状況	49
・ 天候別日数調・月別気温状況・月別湿度状況	49

【第7編】資料（P50～54）

・ 消防本部の沿革	50
・ 消防相互応援協定	54

市 勢 概 要

瀬戸市は、名古屋市の北東約20kmに位置し、周囲を標高100～300mの小高い山々に囲まれ、気候も温暖なまちで、「せともの（瀬戸物）」という言葉が、やきものの代名詞として広く知られています。

良質で豊富な陶土に恵まれたこの地で、先人たちは新しい技術や文化を柔軟に取り入れ、「せとものまち」を発展させてきました。

長年受け継がれてきたやきものづくりの卓越した技は、多種多様なやきものづくりに繋がり、陶器と磁器が共存する稀有な産地であるだけでなく、ノベルティ（置物・装飾品）、ファインセラミックスなどが生産され、今も新しいものづくりが続けられています。

年別	項目	変 遷	面 積 (km ²)	人 口 (人)	世 帯
昭和 4 年		市 制 施 行	28.01	31,276	6,916
昭和26年		水野村合併	50.67	54,779	11,670
昭和30年		幡山村合併	71.36	64,681	13,588
昭和34年		品野町合併	110.34	79,449	16,636
平成29年		4月1日現在	111.40	130,298	54,916



第1編

消防情勢

5年間の市当初予算等と消防費

(単位：千円)

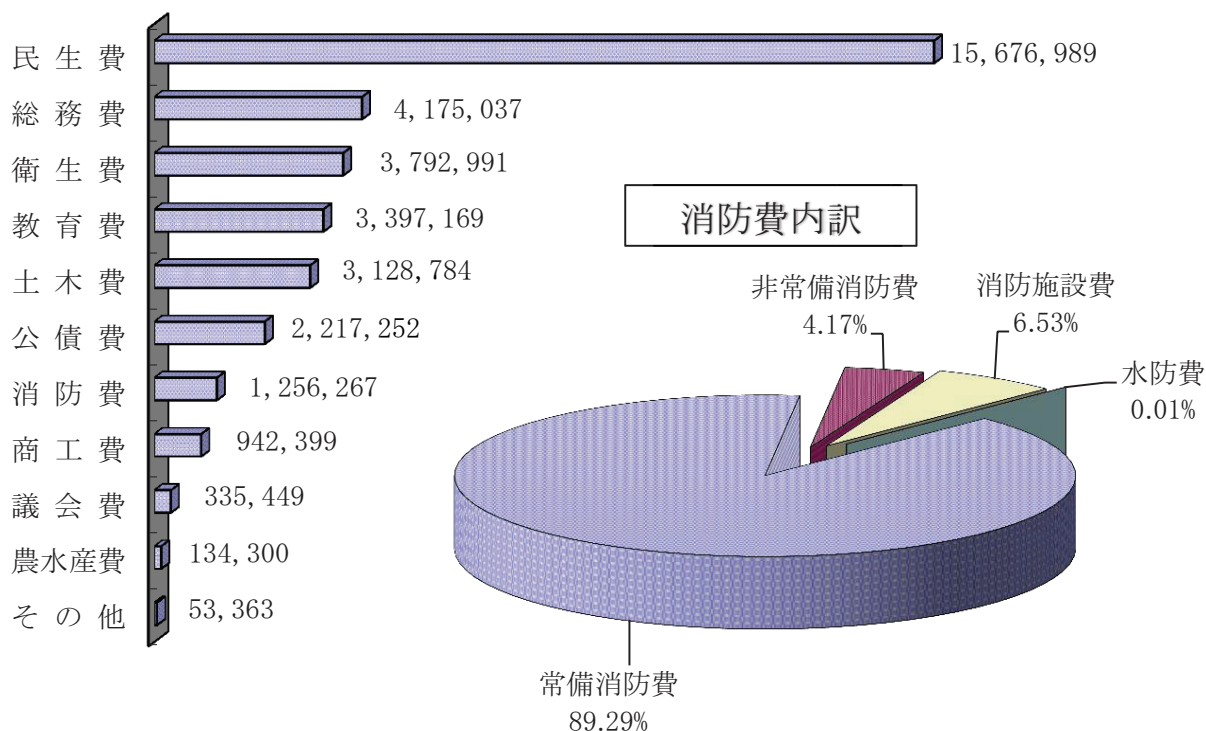
区分 年度	市一般会計	消 防 費	消 防 費 内 訳				一般 会計 との 比率 (%)	消防費基準 財政需要額	消防費と 消防費基 準財政需 要額との 比 較 (%)
			常 備 消防費	非常備 消防費	消 防 施設費	水防費			
24	32,300,000	1,446,176	1,093,088	44,899	308,099	90	4.5	1,501,601	96.3
25	33,210,000	1,187,020	1,067,255	44,105	75,570	90	3.6	1,442,297	82.3
26	36,260,000	1,170,033	1,093,955	46,164	29,824	90	3.2	1,482,387	78.9
27	34,920,000	1,299,809	1,096,319	48,477	154,923	90	3.7	1,492,640	87.1
28	33,890,000	1,293,347	1,116,430	51,517	125,310	90	3.8	1,463,486	88.4

(予算現額)

平成29年度一般会計当初予算額

(単位：千円)

区分 年度	市一般会計	消 防 費	消 防 費 内 訳				一般会計 との比率 (%)
			常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費	
29	35,110,000	1,256,267	1,121,685	52,441	82,051	90	3.6

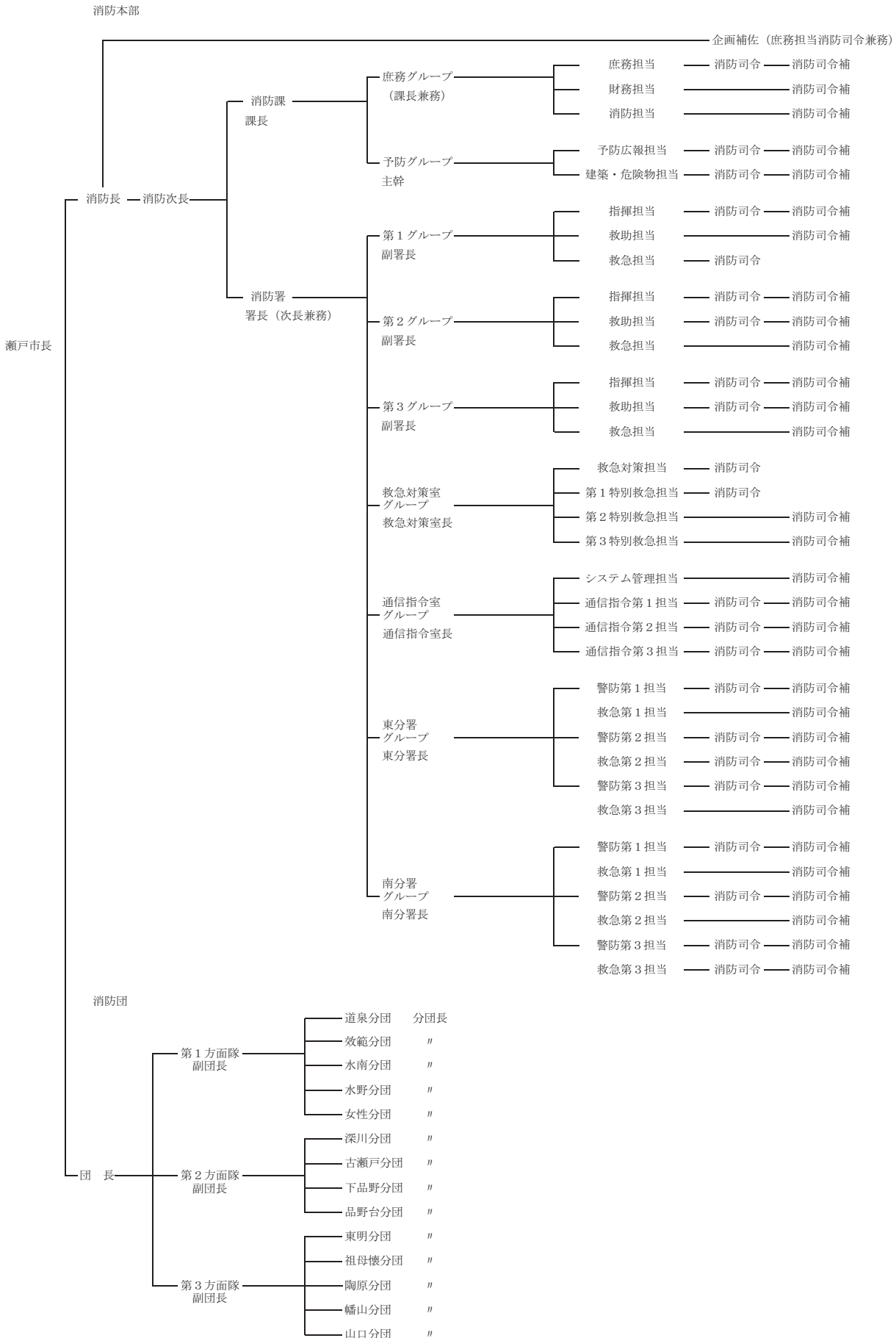


平成29年度消防費の市民負担額

市民1人当たりの額	1世帯当たりの額
9,641 円	22,876 円

消防本部・消防署・消防団組織図

(平成29年4月1日現在)



消 防 本 部 消 防 課 の 事 務 分 掌

- 1 消防職員の任免その他の人事に関する事。
- 2 消防職員及び消防団員の教養計画に関する事。
- 3 行政組織及び事務の委任配分に関する事。
- 4 予算に関する事。
- 5 規則等の制定又は改廃に関する事。
- 6 文書取扱い及び文書管理の総括に関する事。
- 7 公印取扱いの総括に関する事。
- 8 消防職員の福利厚生に関する事。
- 9 消防関係施設の管理に関する事。
- 10 消防庁舎移転整備に関する事。
- 11 消防団に関する事。
- 12 消防職員委員会に関する事。
- 13 消防部隊の統制に関する事。
- 14 消防相互応援協定に関する事。
- 15 消防水利の計画及び管理に関する事。
- 16 消防計画に関する事。
- 17 消防資機材の管理に関する事。
- 18 儀式及び消防行事に関する事。
- 19 火災予防の指導及び普及に関する事。
- 20 予防救急に関する事。
- 21 火災、救急等の報告に関する事。
- 22 消防統計に関する事。
- 23 消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。
- 24 防火対象物の調査及び指導に関する事。
- 25 建築許可等の同意に関する事。
- 26 防災管理の指導に関する事。
- 27 危険物の規制に関する事。
- 28 液化石油ガス等の保安に関する事。
- 29 火薬類の貯蔵及び消費に係る保安に関する事。
- 30 瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会に関する事。
- 31 瀬戸市婦人消防隊連絡協議会に関する事。
- 32 瀬戸市危険物安全協会に関する事。
- 33 瀬戸市自衛消防連絡協議会に関する事。
- 34 消防課の庶務に関する事。

消 防 署 の 事 務 分 掌

- 1 消防署の業務の管理に関する事。
- 2 防火訓練の指導に関する事。
- 3 消防広報活動に関する事。
- 4 火災及び災害の警戒及び防御に関する事。
- 5 救助活動に関する事。
- 6 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- 7 消防相互応援の実施に関する事。
- 8 消防団の訓練指導に関する事。
- 9 消防水利の整備保全に関する事。
- 10 消防機械器具、防災資機材及び救急資機材の整備保全に関する事。
- 11 救急業務及び救急高度化に関する事。
- 12 救急の報告に関する事。
- 13 火災、救急等の受信及び出動指令の伝達に関する事。
- 14 愛知県広域災害救急医療情報システムの運用に関する事。
- 15 気象情報及び災害情報に関する事。
- 16 火災警報に関する事。
- 17 高度情報通信ネットワークの運用に関する事。
- 18 通信施設の整備保全に関する事。
- 19 その他消防情報に関する事。
- 20 消防署の庶務に関する事。

消 防 力 の 整 備 指 針 と 現 有 消 防 力

1 施 設

平成29年4月1日現在

	整 備 指 針	現 有 数	充 足 率 (%)
施 設	3	3	100.0

2 車 両

車 両	整 備 指 針 (台) (非常用を除く)	現 有 数 (台) (非常用を除く)	充 足 率 (%)
消 防 ポ ン プ 自 動 車	7	7	100.0
は し ご 自 動 車	2	1	50.0
化 学 消 防 車	1	1	100.0
救 助 工 作 車	1	1	100.0
指 揮 車	1	1	100.0
救 急 車	6	4	66.7
特 殊 車 等	10	10	100.0
合 計	28	25	89.3

3 人 員

	整 備 指 針 (人)	現 有 人 員 (人)	充 足 率 (%)
指 揮 隊 員	10	101	59.4
消 防 隊 員	103		
救 急 隊 員	40		
救 助 隊 員	17		
(小 計)	170	101	59.4
通 信 員	8	9	112.5
予 防 要 員 (専従) (兼務)	18	25	17
	7		
庶 務 の 処 理 等 の 人 員	13	13	100.0
合 計	209	133	63.6

※ 現有人員133人の内、再任用人員8人

消 防 職 員 数

平成29年4月1日現在

階 級 別		合 計	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員	再 任 用	
												所 属 別
合 計		125 (2)	1	9 (1)	22 (1)	31	27	11	23		8	
消 防 本 部	消 防 長	1	1									
	消 防 次 長	1		1								
	企 画 補 佐	1			1							
	消 防 課 長	1		1								
	消 防 課	庶 務 担 当	1 (1)			(1)	1					
		財 務 担 当	2				1			1		
		消 防 担 当	2				1		1			
	予 防 課	主 幹	1		1							
		予 防 広 報 担 当	4			1	1	2				
		建 築 ・ 危 険 物 担 当	4			1	1	1	1			1
派 遣 職 員 等	2					2						
小 計		20 (1)	1	3	3 (1)	5	5	2	1		1	
消 防 署	署 長		(1)		(1)							
	第 1 グ ル ー プ	副 署 長	1		1							
		指 揮 担 当	2			1	1					
		救 助 担 当	5				1	1	2	1		
		救 急 担 当	4			1		1		2		
	第 2 グ ル ー プ	副 署 長	1		1							
		指 揮 担 当	2			1	1					
		救 助 担 当	5			1	1	1	1	1		
		救 急 担 当	4				1	1	1	1		
	第 3 グ ル ー プ	副 署 長	1		1							
		指 揮 担 当	2			1	1					
		救 助 担 当	5			1	1	1	1	1		
		救 急 担 当	4				1	1	1	1		
	救 急 対 策 室	救 急 対 策 室 長	1		1							
		救 急 対 策 担 当	2			1		1				
		第 1 特 別 救 急 担 当	3			1		1	1			
		第 2 特 別 救 急 担 当	3				1	1	1			
		第 3 特 別 救 急 担 当	3				1	1		1		
	小 計		48 (1)		3 (1)	8	10	10	8	8		
	通 信 指 令 室	通 信 指 令 室 長	1		1							
シ ス テ ム 管 理 担 当		1				1					1	
通 信 指 令 第 1 担 当		2			1	1						
通 信 指 令 第 2 担 当		2			1	1						
通 信 指 令 第 3 担 当		2			1	1						
小 計		8		1	3	4					1	
東 分 署 グ ル ー プ	東 分 署 長	1		1								
	警 防 第 1 担 当	5			1	1	1		2		2	
	救 急 第 1 担 当	3				1	2					
	警 防 第 2 担 当	5			1	1	1		2			
	救 急 第 2 担 当	3			1	1	1					
	警 防 第 3 担 当	5			1	1	1		2			
救 急 第 3 担 当	3				1	1		1				
小 計		25		1	4	6	7		7		2	
南 分 署 グ ル ー プ	南 分 署 長	1		1								
	警 防 第 1 担 当	5			1	1	1		2		1	
	救 急 第 1 担 当	3				1	1	1				
	警 防 第 2 担 当	5			1	1	1		2		1	
	救 急 第 2 担 当	3				1	1		1			
	警 防 第 3 担 当	4			1	1			2		2	
救 急 第 3 担 当	3			1	1	1						
小 計		24		1	4	6	5	1	7		4	

※消防職員合計数には、再任用職員を含まず。

() 内は兼務職員数

消 防 団 員 数

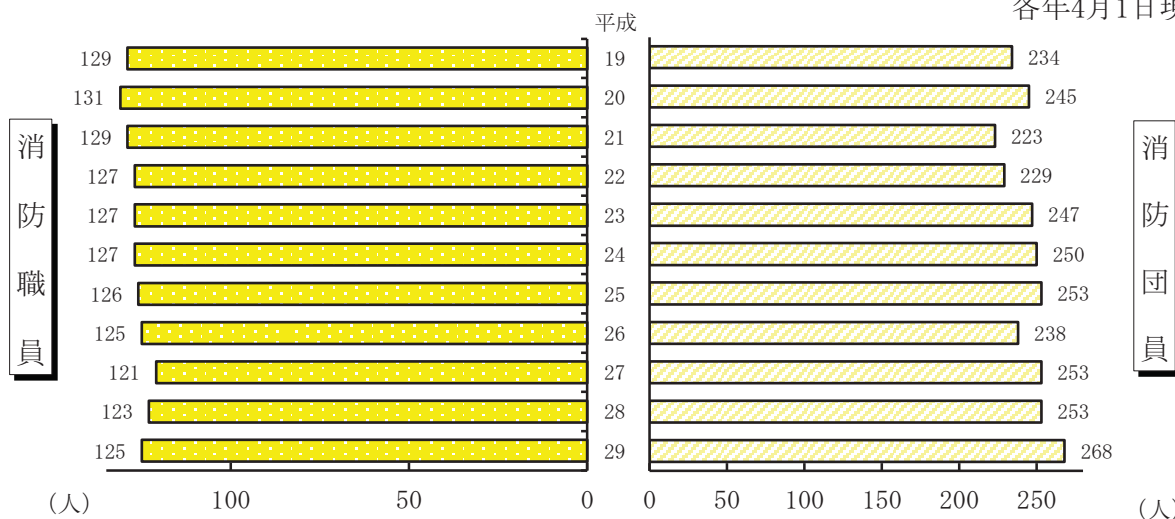
平成29年4月1日現在

階級別 分団別	合 計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
合 計	268	1	3	14	26	27	28	169 ④
団 本 部	4	1	3					
道 泉 分 団	19			1	2	2	2	12 ④
深 川 分 団	19			1	2	2	2	12 ④
古瀬戸分団	18			1	2	2	2	11 ⑤
東 明 分 団	17			1	2	2	2	10 ⑤
祖母懐分団	16			1	2	2	2	9 ②
陶 原 分 団	19			1	2	2	2	12 ②
效 範 分 団	19			1	2	2	2	12 ④
水 南 分 団	17			1	2	2	2	10 ④
水 野 分 団	18			1	1	1	2	13 ②
下品野分団	20			1	2	2	2	13 ④
品野台分団	22			1	1	2	2	16
幡 山 分 団	16			1	2	2	2	9 ②
山 口 分 団	19			1	2	2	2	12 ②
女 性 分 団	25			1	2	2	2	18

○災害支援団員数（内数）

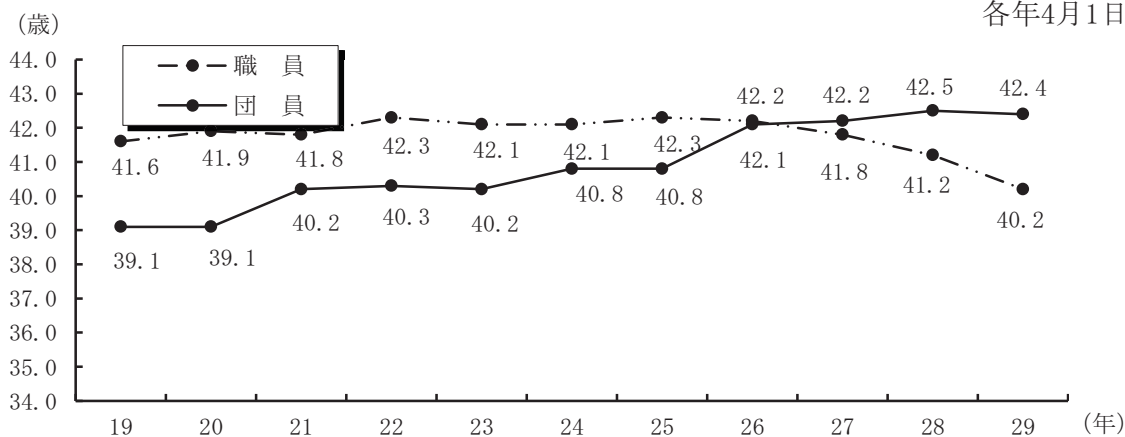
消 防 職 員 ・ 団 員 数 の 推 移

各年4月1日現在



消 防 職 員 ・ 団 員 の 平 均 年 齢 の 推 移

各年4月1日現在



消防職員派遣教養科目別実施状況

【県消防学校等】

科目		年度	合計	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
幹部科	初級		3		1			1			1		
	中級		3			1			1			1	
	上級		4	1			1			1			1
警防科			8	1		1		1	1	1	1	1	1
救助科			10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
救急科	I 課程		0										
	II 課程		0										
標準課程			28	3	3	2	2	4	2	3	3	4	2
はしご自動車等運用科			5		1			1			1	1	1
指導員養成科			0										
初任科			33	3	3	3	1	4	3	3	3	3	7
予防科	危険物課程		4	1			1			1			1
	予防課程		0										
	火災調査課程		2					1			1		
	査察課程		3			1			1			1	
特殊災害科			2		1		1						
地震防災科			7	1			1		1	1	1	1	1
新任消防長(行政出身)科			1		1								
小隊長科			2		1			1					
指揮隊科			3							1	1	1	
外傷・災害対応講習			16		1	4	4			2		2	3
合計			134	11	13	13	12	14	10	14	13	16	18

【救急救命士養成関係】 ()内は平成29年4月1日現在の救命士数

科目		年度	合計	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
救急救命士養成	救命士合計(31)		10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
救急救命士気管挿管養成	(11)		10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
救急救命士薬剤投与養成	(22)		19		5	5	3	1	1	1	1	1	1
合計			39	2	7	7	5	3	3	3	3	3	3

【消防大学校】

科目		年度	合計	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
上級幹部科			1						1				
幹部科(旧幹部研修科)			2	1	1								
警防科			1			1							
予防科			1					1					
救急科			0										
救助科			4						1		1	1	1
火災調査科			2				1			1			
講習会等			7			1	1	1		1	1	1	1
新任消防長科			1		1								
新任教官科			1									1	
合計			20	1	2	2	2	2	2	2	2	3	2

消防職員研修実施状況

内容		年度	合計	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
市職員研修	回数		201	18	20	17	10	12	18	18	29	29	30
	人数		555	30	74	42	19	32	44	34	98	95	87
警防関係	回数		61	8	7	9	15	8	5	2	2	3	2
	人数		656	39	41	209	315	25	8	7	4	4	4
救急・救助関係	回数		222	16	17	16	30	12	13	18	53	24	23
	人数		1,958	95	109	121	131	33	235	275	323	311	325
予防関係	回数		114	10	15	14	8	11	16	13	9	9	9
	人数		165	14	19	17	13	12	25	27	13	12	13
通信関係	回数		18	3	2	2	3	0	1	1	3	2	1
	人数		58	5	3	2	3	0	13	2	13	5	12
その他	回数		67	13	9	12	4	4	2	0	6	11	6
	人数		103	19	14	21	5	4	3	0	9	21	7
合計	回数		683	68	70	70	70	47	55	52	102	78	71
	人数		3,495	202	260	412	486	106	328	345	460	448	448

消防職員・団員公務災害等発生状況

内容		年度	計	小計	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
消防活動中	職員		4	4		1		2		1				
	団員		0	0										
救急活動中	職員		4	4					1	2	1			
	団員		0	0										
調査活動中	職員		0	0										
	団員		0	0										
訓練中	職員		13	2			1							1
	団員		11	1	1	1		1	2	4			1	
作業中	職員		6	3			1	2						
	団員		3	1			1					1		
その他	職員		8	2					2					
	団員		6	1	1						2		2	
通勤災害	職員		1	1		1								
	団員		0	0										
合計	職員		16	0	2	2	4	3	3	1	0	0	1	
	団員		20	3	2	1	1	1	2	6	1	3	0	
	計		36	3	4	3	5	4	5	7	1	3	1	

消防本部車両運用状況

平成28年中

区別 車両別	火災出動		放水		救急出動		救助出動		警戒出動		風水害出動		訓練出動		警防調査		火災調査		検査・査察		広報活動		一般事務		その他の出動		走行距離 km
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	
合計	236	757	42	6,060	20,720	165	537	185	608	2	6	207	598	287	886	24	79	460	991	877	2,362	1,677	2,870	1,065	2,223	132,712	
ポンプ 1号車	2	6	0	365	1,190	0	0	0	0	0	0	0	4	5	16	0	0	0	0	0	0	2	8	2	5	2,007	
タンク 2号車	25	88	8	24	83	12	38	31	113	0	0	10	40	1	3	1	3	0	0	3	10	4	13	6	20	1,782	
化学 3号車	1	4	1	1	3	0	0	18	68	0	0	6	20	2	6	0	0	1	3	1	4	4	10	16	41	713	
タンク 5号車	29	115	12	37	122	18	59	36	123	0	0	21	65	60	195	7	23	38	122	173	528	88	275	56	177	5,806	
タンク 6号車	30	104	10	43	132	17	55	39	130	1	4	13	42	63	202	1	3	20	61	128	397	58	184	113	340	6,514	
ポンプ 8号車	17	55	4	188	579	1	4	1	3	0	0	0	0	42	130	0	0	3	10	1	3	4	12	8	24	2,106	
ポンプ 9号車	15	47	3	219	657	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	0	0	0	0	0	0	2	6	1	3	1,505	
ポンプ 10号車	23	81	4	13	46	6	19	2	5	0	0	5	18	77	249	3	10	10	33	0	0	56	181	68	223	2,808	
空活 31号車	5	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	12	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	4	7	364	
梯子 32号車	3	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	16	279
救助 43号車	0	0	0	0	0	47	177	0	0	0	0	10	42	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	6	15	647	
指揮 51号車	38	116	0	18	54	52	156	49	148	0	0	46	138	5	15	0	0	0	1	3	388	69	217	96	290	10,732	
指令 52号車	2	7	0	0	0	0	0	3	9	0	0	6	14	2	3	2	6	131	239	16	51	146	275	72	156	5,236	
広報 61号車	1	2	0	0	0	0	0	3	6	0	0	7	11	4	7	0	0	112	238	2	6	161	228	77	103	5,512	
広報 62号車	4	7	0	0	0	2	3	0	0	0	0	5	10	2	7	4	14	1	4	37	40	285	337	43	62	5,582	
広報 64号車	2	4	0	0	0	0	0	1	1	0	0	10	29	6	17	2	4	95	183	12	41	189	316	100	207	6,237	
輸送 71号車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	22	38	33	59	1,196	
積載 72号車	2	5	0	0	0	1	1	0	0	0	0	8	10	4	9	0	0	2	3	2	2	56	65	78	88	2,207	
連絡 73号車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	11	0	0	0	0	4	8	0	0	137	254	21	49	5,388	
査察 74号車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	12	2	3	2	7	34	68	1	1	91	121	87	102	3,868	
輸送 75号車	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	2	8	12	2	4	0	0	6	12	3	4	64	68	68	76	2,703	
査察 76号車	10	11	0	0	0	2	2	2	2	2	0	18	54	8	14	2	9	2	4	110	112	233	247	89	128	10,672	
水槽 77号車	4	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	11	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	8	17	387	
救急 1号車	20	62	0	1,764	6,021	6	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	9	13,744
救急 2号車	0	0	0	1,075	3,820	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	0	0	7,397	
救急 3号車	0	0	0	975	3,428	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13,275	
救急 5号車	3	9	0	1,338	4,585	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	14,045

消 防 団 活 動 状 況

平成28年中

区 分 分 団 別	区 分 合 計		火災出動			放水		水防活動 及び 警戒活動		訓練出動		広報出動		その他		走 行 距 離 Km
	回数	人員	回数	人員	回数	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	
合 計	1,486	9,485	111	749	6	60	667	807	5,177	211	1,916	297	976			1,300
うち支援団員	(47)	(105)	(29)	(72)		(3)	(11)									
消防団本部	198	444	25	57				121	235			52	152			
道泉分団	117	584	5	39	1	4	37	81	396	8	63	19	49			44
うち支援団員	(2)	(6)	(2)	(6)												
深川分団	104	675	1	9	1	4	58	50	396	13	116	36	96			90
うち支援団員	(1)	(1)	(1)	(1)												
古瀬戸分団	116	471	6	49	1	6	61	72	211	18	113	14	37			78
うち支援団員	(8)	(20)	(6)	(12)		(2)	(8)									
東明分団	82	450	5	28		4	38	33	186	26	166	14	32			90
うち支援団員	(5)	(16)	(5)	(16)												
祖母懐分団	103	847	9	66	1	4	50	39	379	23	263	28	89			98
うち支援団員	(6)	(8)	(6)	(8)												
陶原分団	111	765	11	113		5	69	60	331	12	189	23	63			50
うち支援団員			7			2	2									
效範分団	155	1067	9	38	1	5	57	91	701	23	189	27	82			119
うち支援団員	(4)	(8)	(4)	(8)												
水南分団	102	469	9	31	1	7	52	35	192	23	126	28	68			113
うち支援団員	(4)	(12)	(3)	(9)		(1)	(3)									
水野分団	122	1125	8	104		6	68	59	584	22	188	27	181			210
うち支援団員	(4)	(7)	(4)	(7)												
下品野分団	82	724	8	79		5	58	42	381	19	177	8	29			200
うち支援団員	(8)	(20)	(8)	(20)												
品野台分団	79	761	6	55		4	58	44	432	13	161	12	55			95
うち支援団員																
幡山分団	115	1103	9	81		6	61	80	753	11	165	9	43			113
うち支援団員	(5)	(7)	(5)	(7)												
山口分団	99	959	6	57		7	72	66	664	8	97	12	69			42
うち支援団員	(4)	(4)	(4)	(4)												
女性分団	203	619						173	497	5	9	25	113			
うち支援団員																

うち女性消防団員内は、訓練出動は救命講習及びその他は暮らしのあんしん訪問の回数・人員のみを計上。

ガンバレ消防団応援事業所

ガンバレ消防団応援事業所とは、市内の事業所や販売店の皆様が、応援事業所として消防団員に各種サービスや割引等の提供を行ったり、消防団員募集ポスターを事業所内に掲出するなど、様々な形で消防団を応援していただく事業所のごことで、地域の方々に「消防団」をアピールし、消防団の認知度を高めつつ、事業所の皆様には、社会貢献のイメージアップと顧客としての消防団員の集客率を高める効果が期待できます。

平成22年10月1日運用開始

平成29年6月末現在 登録事業所数：278箇所（公共施設92箇所含む）

第2編

消防施設

消 防 庁 舎 等 設 置 状 況

平成29年4月1日現在

区分	名 称	建 築 年 月 日	構 造	延 床 面 積 (敷地面積)	所 在 地
消 防 庁 舎	消 防 本 部 消 防 署	S 47. 7. 31 (増築S62.2.28)	R・C造3階建 一部5階建	1,622.52m ² (3241.84m ²)	苗場町101
	消 防 署 東 分 署	H 1. 10. 14	R・C造2階建 一部地下1階	934.81m ² (2698.04m ²)	品野町1-190-1
	〃 訓 練 塔	H 1. 10. 14	S 造 4 階 建	135.36m ²	品野町1-190-1
	消 防 署 南 分 署	H 3. 3. 1	R・C造2階建	590.98m ² (2331.99m ²)	南山口町143
消 防 分 団 詰 所	道 泉 分 団	H 27. 3. 29	R・C造2階建	177.34m ² (347.85m ²)	西谷町6
	深 川 分 団	H 29. 3. 7	R・C造2階建	150.50m ² (276.39m ²)	宮脇町2-5
	古 瀬 戸 分 団	S 55. 3. 31	R・C造2階建	75.47m ² (280.98m ²)	西古瀬戸町8-3
	東 明 分 団	H 4. 3. 22	R・C造2階建	145.00m ² (741.89m ²)	西窯町94
	祖 母 懐 分 団	H 15. 2. 28	R・C造2階建	152.50m ² 祖母懐公民館併設	上ノ切町43
	陶 原 分 団	S 60. 9. 30	R・C造2階建	99.32m ² (244.48m ²)	陶原町2-44-1
	效 範 分 団	H 18. 3. 1	R・C造2階建	128.70m ² (245.33m ²)	汗干町81-20
	水 南 分 団	S 60. 3. 30	R・C造2階建	98.53m ² (453.65m ²)	北松山町1-63-2
	水 野 分 団	S 53. 12. 15	R・C造2階建	88.41m ² (539.43m ²)	中水野町1-155
	下 品 野 分 団	H 9. 3. 5	S・R・C造2階建	152.50m ² (401.00m ²)	品野町6-108-1
	品 野 台 分 団	S 63. 3. 27	R・C造2階建	108.50m ² (322.52m ²)	上品野町335-3
	幡 山 分 団	S 56. 3. 31	R・C造2階建	73.31m ² 幡山公民館併設	幡山町71
山 口 分 団	H 28. 3. 7	R・C造2階建	222.50m ² (600.62m ²)	大坪町113-2	
水 防 倉 庫 等	消 防 署 水 防 倉 庫	消 防 署 併 設		19.70m ²	苗場町101
	消 防 署 倉 庫	H 7. 3. 8	コ ン テ ナ 式	14.30m ²	苗場町101
	防 災 資 機 材 地 域 備 蓄 倉 庫	H 7. 10. 6	S 造 平 屋 建	165.60m ²	苗場町101
	東 分 署 水 防 倉 庫	東 分 署 併 設		13.00m ²	品野町1-190-1
	南 分 署 倉 庫	S 62. 11. 20	コ ン テ ナ 式	13.70m ²	南山口町143
	東 明 水 防 倉 庫	東 明 分 団 詰 所 併 設		27.00m ²	西窯町94
	陶 原 水 防 倉 庫	瀬 戸 蔵 併 設		22.44m ²	蔵所町1-1
	效 範 水 防 倉 庫	效 範 分 団 詰 所 併 設		22.50m ²	汗干町81-3
	水 野 水 防 倉 庫	水 野 分 団 詰 所 併 設		17.01m ²	中水野町1-155
	品 野 水 防 倉 庫	S 61. 7. 31	コ ン テ ナ 式	13.70m ²	品野町6-116
	幡 山 水 防 倉 庫	S 58. 1. 10	C・B造平屋建	39.32m ²	幡山町71
	上 半 田 川 倉 庫	S 63. 2. 22	コ ン テ ナ 式	13.70m ²	上半田川町345
	片 草 倉 庫	H 1. 1. 16	コ ン テ ナ 式	14.64m ²	片草町226-5
下 半 田 川 倉 庫	H 1. 9. 29	コ ン テ ナ 式	14.30m ²	下半田川町843-1	
道 泉 倉 庫	H 27. 3. 29	コ ン テ ナ 式	8.94m ²	西谷町6	
器 具 庫	水 南 器 具 庫	水 南 分 団 詰 所 併 設		16.80m ²	北松山町1-63-2
	陶 原 器 具 庫	陶 原 分 団 詰 所 併 設		12.60m ²	陶原町2-44-1

消 防 車 両 等 配 備 状 況

平成29年4月1日現在

配備	名 称	種 別	登録年月	経年	総排気量	規格	摘 要
消 防 署	ポンプ 1 号	ポンプ車	平 2 3 年 1 2 月	5	4.56 L	CD-I	電動ホースカー付
	タンク 2 号	タンク車	平 2 1 年 3 月	8	6.40 L	水 II 型	水 2,000 L
	化学 3 号	化学車	平 6 年 1 2 月	23	7.41 L	化学 II 型	水 1,300 L 薬液 500 L
	ポンプ 10 号	ポンプ車	平 9 年 3 月	20	7.96 L	CD-II	救助資器材積載
	梯子 3 2 号	梯子車	平 9 年 1 2 月	19	20.78L	3 0 M 級	
	救助 4 3 号	救助工作車	平 1 8 年 1 1 月	10	6.40 L	II 型	電源照明付 ウインチ付
	指揮 5 1 号	指揮車	平 2 8 年 2 月	1	2.26 L		
	指揮 5 2 号	査察車	平 1 7 年 2 月	11	2.36 L		
	広報 6 1 号	広報車	平 2 7 年 2 月	2	1.49 L		
	広報 6 4 号	広報車	平 1 4 年 1 0 月	14	1.99 L		
	輸送 7 1 号	輸送車	平 1 8 年 8 月	10	4.89 L		
	連絡 7 3 号	連絡車	平 1 5 年 1 月	14	1.76 L		
	査察 7 4 号	査察車	平 1 3 年 2 月	16	1.76 L		
	救急 1 号	救急車	平 2 2 年 8 月	6	3.49 L	高規格	
	救急 2 号	救急車	平 2 5 年 3 月	4	2.69 L	高規格	
	動 - 2	可搬動力ポンプ	平 1 7 年 1 0 月	10	175 cc	C-1	
	動 - 6	可搬動力ポンプ	平 1 9 年 9 月	9	175 cc	C-1	
	動 - 9	可搬動力ポンプ	平 3 年 9 月	26	175 cc	C-1	
動 - 1 5	可搬動力ポンプ	平 2 4 年 1 月	5	635 cc	B-3		
東 分 署	タンク 6 号	タンク車	平 2 4 年 2 月	5	6.40 L	水 II 型	水2,000 L (C A F S)
	ポンプ 8 号	ポンプ車	平 2 9 年 4 月	0	4.00 L	CD-I	電動ホースカー付
	積載 7 5 号	積載車	平 2 0 年 1 0 月	8	2.95 L		
	査察 7 6 号	査察車	平 2 1 年 8 月	7	1.99 L		
	水槽 7 7 号	水槽車	平 1 5 年 1 0 月	13	10.52 L	付水 II	水 10,000 L
	救急 3 号	救急車	平 2 8 年 3 月	1	3.37 L	高規格	
	動 - 1 4	可搬動力ポンプ	平 7 年 3 月	23	198 cc	C-1	
	動 - 1 9	可搬動力ポンプ	昭 6 3 年 1 月	29	198 cc	C-1	
南 分 署	タンク 5 号	タンク車	平 2 3 年 2 月	6	6.40 L	水 II 型	水2,000 L (C A F S)
	ポンプ 9 号	ポンプ車	平 1 2 年 1 0 月	16	4.57 L	CD-I	電動ホースカー付
	空活 3 1 号	空中活動車	平 2 6 年 3 月	3	4.00 L	1 5 M 級	
	広報 6 2 号	広報車	平 2 0 年 8 月	8	0.65 L		
	積載 7 2 号	可搬積載車	平 1 3 年 1 0 月	15	3.15 L		動-4積載
	救急 5 号	救急車	平 2 4 年 3 月	5	3.49 L	高規格	
	動 - 4	可搬動力ポンプ	平 1 3 年 1 2 月	15	635 cc	B-3	積載 7 2 号
	動 - 1 6	可搬動力ポンプ	平 2 4 年 1 月	5	200 cc	C-1	

配備	名 称	種 別	登録年月	経年	総排気量	規格	摘 要
消 防 団 等	道 泉 分 団	ポ ン プ 車	平 1 0 年 1 2 月	18	4.56 L	CD-I	絡車付 定員8名
	動 ー 3	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 3 年 1 0 月	25	175 cc	C-1	
	深 川 分 団	ポ ン プ 車	平 1 1 年 1 月	17	5.24 L	CD-I	絡車付 定員8名
	動 ー 8	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 4 年 1 月	5	200 cc	C-1	
	古 瀬 戸 分 団	ポ ン プ 車	平 1 2 年 1 0 月	16	5.24 L	CD-I	絡車付 定員8名
	動 ー 1 7	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 6 年 1 月	3	200 cc	C-1	
	東 明 分 団	ポ ン プ 車	平 1 7 年 1 月	12	4.00 L	CD-I	絡車付 定員8名
	搬 送 3 号	資 機 材 搬 送 車	平 2 2 年 7 月	6	0.65 L		
	動 ー 1 0	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 5 年 9 月	23	175 cc	C-1	
	祖 母 懐 分 団	ポ ン プ 車	平 1 0 年 1 月	19	4.56 L	CD-I	絡車付 定員8名
	動 ー 2 1	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 7 年 9 月	2	200cc	C-1	
	陶 原 分 団	ポ ン プ 車	平 2 8 年 1 2 月	0	4.00 L	CD-I	絡車付 定員6名
	動 ー 1 8	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 6 年 1 月	3	200 cc	C-1	
	效 範 分 団	ポ ン プ 車	平 1 3 年 1 1 月	15	5.24 L	CD-I	絡車付 定員8名
	動 ー 2 0	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 6 年 1 0 月	2	198 cc	C-1	
	水 南 分 団	ポ ン プ 車	平 1 8 年 2 月	11	4.00 L	CD-I	絡車付 定員8名
	動 ー 2 2	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 7 年 9 月	1	200 cc	C-1	
	水 野 分 団	ポ ン プ 車	平 2 2 年 2 月	7	4.00 L	CD-I	絡車付 定員8名
	搬 送 1 号	資 機 材 搬 送 車	平 2 0 年 1 1 月	8	0.65 L		
	動 ー 1 1	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 6 年 1 0 月	2	198 cc	C-1	
	下 品 野 分 団	ポ ン プ 車	平 1 9 年 1 2 月	9	4.00 L	CD-I	絡車付 定員8名
	搬 送 4 号	資 機 材 搬 送 車	平 2 4 年 2 月	5	0.65 L		
	動 ー 1 2	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 2 年 1 1 月	16	175 cc	C-1	
	品 野 台 分 団	ポ ン プ 車	平 1 5 年 2 月	14	4.77 L	CD-I	絡車付 定員8名 4WD
	搬 送 5 号	資 機 材 搬 送 車	平 1 3 年 2 月	16	0.65 L		
	動 ー 1 3	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 4 年 1 月	5	200 cc	C-1	
	幡 山 分 団	ポ ン プ 車	平 2 3 年 1 月	6	4.00 L	CD-I	絡車付 定員8名
	搬 送 2 号	資 機 材 搬 送 車	平 2 1 年 1 0 月	7	0.65 L		
	動 ー 1	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 0 年 6 月	18	198 cc	C-1	
	山 口 分 団	ポ ン プ 車	平 2 8 年 3 月	1	4.00 L	CD-I	絡車付 定員8名
	搬 送 6 号	資 機 材 搬 送 車	平 2 8 年 2 月	1	0.65 L		
	動 ー 2 3	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 2 8 年 4 月	1	526cc	B-3	
	上半田川町自警団	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 1 年 1 1 月	17	635 cc	B-3	
下半田川町自警団	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 3 年 1 月	16	635 cc	B-3		
定光寺町自警団	資 機 材 搬 送 車	平 1 5 年 1 0 月	13	0.65 L			
定光寺町自警団	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 1 年 1 1 月	17	635 cc	B-3		
片草町自警団	可 搬 動 力 ポ ン プ	昭 5 9 年 1 1 月	31	508 cc	B-3		
白岩町自警団	可 搬 動 力 ポ ン プ	平 1 0 年 2 月	19	635 cc	B-3		

※絡車=ホースカー

主 な 消 防 機 器 保 有 状 況

平成29年4月1日現在

分類	用途	品 名	総数	分類	用途	品 名	総数				
消 火 活 動 資 機 材	放	ホース 65ミリ	264	救 助 機 材	切 断 用 器 具 破 壊 測 定 用 呼 吸 保 護 器 具 隊 員 保 護 器 具 検 索 用 器 具 水 難 救 助 用 器 具 山 岳 救 助 用 器 具 そ の 他 の 救 助 器 具	油圧切断機	2				
		〃 50ミリ	201			エンジンカッター	5				
		〃 40ミリ	49			アーク溶断器	1				
	水	水幕ホース	6			チェーンソー (予備2含む)	5				
		水幕金具(予備3含む)	10			エアーツール	4				
		ホースブリッジ	24			万能斧	21				
		フォグガン	19			さく岩機 (予備1含む)	2				
		無反動管そう	6			電気ハンマードリル	3				
		東消式高発泡器	2			有毒ガス検知器	3				
		可搬消防ポンプ	10			放射線測定器	6				
救 急 用 資 機 材	救 急 活 動 器 具 衛 生 用 器 具 訓 練 人 形	自動体外式除細動器 (AED)	7	用 資 機 材	呼 吸 保 護 器 具 隊 員 保 護 器 具 検 索 用 器 具 水 難 救 助 用 器 具 山 岳 救 助 用 器 具 そ の 他 の 救 助 器 具	放射線個人線量計	24				
		患者監視装置	4			空気呼吸器	48				
		携帯用酸素蘇生器	7			空気ボンベ	139				
		医療用ボンベ	38			酸素呼吸器	4				
		保育器	2			酸素ボンベ	12				
		救急車室内殺菌装置	1			送排風機	2				
		救急資材滅菌器	1			耐電衣一式 (上衣・ズボン・長靴)	2				
		救急白衣殺菌ロッカー	4			耐電手袋	8				
		自動手指消毒器	1			耐熱服	2				
		うがい器	4			熱画像直視装置	2				
		高度処置シミュレーター	4			簡易画像探索器	1				
		静脈採血注射モデル	1			救命胴衣	12				
		気道管理トレーナー	3			救命浮輪 (予備1含む)	2				
		応急手当普及用人形	35			救命ボート	1				
		AEDトレーナー	17			折りたたみ担架 (バスケットストレッチャー)	4				
チョーキングマネキン	2	山岳用担架	1								
救 助 用 資 機 材	一 般 救 助 器 具 重 量 物 排 除 器 具	かぎ付はしご	8	材	そ の 他 の 救 助 器 具	山岳用担架	1				
		3連はしご	7			緩降機	3				
		金属製折りたたみはしご	1			ロープ登はん機	0				
		空気式救助マット	1			投光器 (手持ち35、照明のみ9)	44				
		救命索発射銃	1			発電機 (車載8、予備7)	16				
		救助用ばく帯・サハバースリング	13			携帯マイク	17				
		集団災害用非常持出担架	37			携帯無線 (デ20、署41、可5)	66				
		救助用ロープ12ミリ (200m箱入)	6			対 応 資 機 材	B C 災 害	陽圧式化学防護服	5		
		カラビナ	240					有毒ガス検知管一式	1		
		滑車	19					除染シャワー	1		
		機 材	重 量 物 排 除 器 具			油圧ジャッキ	10	資 機 材	そ の 他 の	除染剤散布器	2
						油圧スプレッター	2			エアータント (集団災害)	1
						可搬ウインチ	4			簡易防毒衣	5
						ワイヤーロープ	11			オイルフェンス	2
						マット型空気ジャッキ一式	2			油処理剤 (シーグリーン15kg入)	16
チェーンブロック (積載外)	0			油処理剤 (アルファゲル 9kg入)	16						
マンホール救助器具	1			泡消火薬剤 (180缶)	35						

水防用資機材備蓄状況

平成29年4月1日現在

水防倉庫名		合計											水南	
所	在	苗場町	東分署	南分署	陶原	団訓練場	水野	幡山	品野	東明	効果	水南	北松山町	
面	積 (m ²)	19.7	13.0	13.7	16.5	1.6	17.0	39.3	13.7	17.5	17.0	16.8		
対象	河川	瀬戸川	瀬戸川	矢田川	瀬戸川	瀬戸川	水野川	矢田川	水野川	赤津川	瀬戸川	瀬戸川	瀬戸川	
主要資材	木くわい(本)	134	80	60	200	0	220	750	550	200	178	50		
	ビニール袋(袋)	1,400	750	1,000	2,000	1,000	3,000	5,000	2,850	3,000	3,000	2,000		
	麻袋(袋)	400	0	16	0	0	0	120	0	0	0	800		
	かます(枚)	0	0	0	190	0	100	220	40	100	50	50		
	なわ(玉)	8	5	6	0	0	5	21	5	10	6	80		
	矢板(枚)	23	0	0	0	0	100	0	200	100	0	300		
	8番線(kg)	50	50	50	100	0	0	400	50	200	200	600		
	鉄くわ(本)	120	125	70	58	50	0	70	60	140	0	320		
	ノールツ番線(箱)	8	5	5	1	0	0	4	1	1	1	16		
	のこぎり(丁)	27	14	12	26	0	0	10	10	20	0	0		
主要器材	なたのこセット(丁)	16	7	12	0	0	0	0	0	0	0	0		
	なた(丁)	31	4	0	14	0	0	10	0	0	0	0		
	ハンマー(丁)	30	5	4	4	2	5	0	5	5	5	5		
	掛矢(丁)	17	5	9	20	3	0	10	0	1	0	21		
	たこづち(丁)	5	6	0	1	0	0	0	0	0	0	4		
	シヤベル(丁)	145	22	29	65	20	9	12	0	0	0	60		
	つるはし(丁)	30	6	1	6	0	1	11	0	2	0	0		
	かま(丁)	70	15	22	4	0	5	5	0	4	5	5		
	クリツパー(丁)	22	6	9	5	0	0	0	0	3	0	0		
	しのの(丁)	25	10	9	10	0	0	0	0	0	0	0		
バッチくわ(丁)	6	0	1	8	0	0	0	0	1	0	0			
防水シート(枚)	45	44	46	0	0	16	10	10	10	10	10			
一輪車(台)	6	2	2	0	2	0	0	1	0	0	0			
水防T型マット	6	3	2	0	0	0	0	0	0	0	26			

消 防 水 利 設 置 状 況

平成29年 4月 1日現在

連 区 別	合 計	防火水槽・貯水槽（公設）				防 火 水 槽 （私設）				消火栓		その他の水利		
		100m ³ 以 上	60～100 m ³ 未 満	40～60 m ³ 未 満	40m ³ 未 満	100m ³ 以 上	60～100 m ³ 未 満	40～60 m ³ 未 満	40m ³ 未 満	基準 適合	基準 以外	池	プ ール	そ の 他
道泉	117 (7)			8 (4)	1			3 (3)		77	27		1	
深川	83 (3)			6 (3)	4			1		64	7		1	
古瀬戸	102 (2)			11 (2)	4			1		57	28		1	
東明	127 (10)			13 (8)	2			1 (1)	1 (1)	72	32	1	1	4
祖母懐	131 (6) ● 1	2 (2) ● 1		12 (4)	4				1	82	28		2	
陶原	180 (11)			16 (5)	4			7 (6)		117	35		1	
長根	252 (13)			14 (8)	1			11 (5)		151	73	1	1	
效範	350 (29) ● 1	2 (2) ● 1		37 (17)				13 (10)		211	83		4	
水南	177 (14)			22 (8)	1	1		16 (6)		80	55		1	1
水野	437 (24)			29 (16)	11	1	8 (2)	16 (6)	12	232	120	4	3	1
下品野	203 (11)	2 (1)		18 (10)	6			2	1	108	65		1	
品野	177 (11)			13 (9)	6	1	1	3 (2)	4	85	57	2	4	1
幡山	501 (26)			26 (15)	6		3 (1)	17 (8)	5 (2)	308	127	1	5	3
山口	258 (10)			14 (7)	6			9 (3)	2	149	75	2	1	
西陵	163 (9)			15 (6)				2 (2)	1 (1)	133	10		2	
原山台	50 (3)			4 (2)				1 (1)		43	1		1	
萩山台	79 (1)			3 (1)						52	22		2	
八幡台	102 (2)			4 (2)						82	15		1	
合 計	3,489 (192) ● 2	6 (5) ● 2		265 (127)	56	3	12 (3)	103 (53)	27 (4)	2,103	860			
	● 2	327	(132)	● 2		145	(60)			2,963		11	33	10

() 内は耐震性を有する防火水槽又は耐震性貯水槽を示す。●は飲料水兼用を示す。

指 標	単 位	基準値	目標値	実績値
消防水利の充足率	%	98	98.7	98.6

※充足率とは、市街地等をメッシュ区画し、区画内に適合水利が設置されている割合をいう。

第3編

予 防

連 区 別 防 火 対 象 物 状 況

平成29年4月1日現在

項 別	連 区 別	合 計	道	深	古	東	祖	陶	長	效	水	水	西	原	萩	八	品	下	山	本	菱	新
			泉	川	瀬	明	母	原	根	範	南	野	陵	山	台	台	幡	野	野	口	地	野
	合 計	4,622	183	120	128	171	147	341	466	478	230	457	51	73	40	30	233	285	347	431	239	172
1	イ 劇場・映画館	4										3										1
	ロ 公会堂・集会場	55	1		2	1	4	3	7	7	2	2	2	2	1	1	7	3	5	1	1	3
2	イ キャバレー等	0																				
	ロ 遊 技 場	8						1	1	2	1									2		1
	ハ ニ 性風俗 関連店舗 カラオケ等 個室	0 2								2												
3	イ 料理店等	0																				
	ロ 飲 食 店	66	1		1			4	16	5	7	4					2	1	8	9	1	7
4	百貨店・マーケット	163	2	4	4	1	1	17	29	15	10	10	3	2			1	6	10	27	6	15
5	イ 旅館・ホテル	18		1						2	2	3					2			8		
	ロ 共 同 住 宅 ・ 寄 宿 舎	928	20	6	19	8	14	51	111	135	64	24	10	44	27	22	19	35	140	44	96	39
6	イ 病院・診療所	53		3			2	4	2	13	8	2		2		1	4	2	4	2	1	3
	ロ 福祉施設等 入所施設等	53		2	5	1		5	8	4	3	8			1		4	2	4	3	3	
	ハ ニ 福祉施設等 保育所等	90	2	4	1		1	8	15	11	7	5	7	2	2	2	6	2	6	4	1	4
	ニ 幼 稚 園	12			1				1		2		4	2	1	1						
7	学校・各種学校	178	9	1	6	2	7	25	7	13	9	12	11	2	4	2	32	2	13	1	13	7
8	図書館・美術館等	17		1			2	1			3	1							8		1	
9	イ 特殊浴場	0																				
	ロ イ以外の 公衆浴場	2						2														
10	停 車 場	3	1								1											1
11	神 社 ・ 教 会	72	5	5	5	3	4	3	12	6	3	4	1				4	2	7	3	4	1
12	イ 工場・作業所	1,318	77	42	53	104	73	78	87	71	33	225	2				85	114	41	165	42	26
	ロ テレ ビ ス タ ジ オ 等	0																				
13	イ 自動車車庫	61	1	1	3	3		7	8	5	10	7					3	1	2	3	2	5
	ロ 飛 行 機 の 格 納 庫	0																				
14	倉 庫	456	20	10	10	25	9	25	50	34	11	61	1				22	43	30	73	21	11
15	事 務 所 等	422	7	6	5	17	8	35	42	37	13	60	2	2	1		28	52	28	47	22	10
16	イ 複 合 用 途 (特 定)	355	27	22	5	1	10	38	37	67	28	14	5	13	3		6	8	20	19	9	23
	ロ 複 合 用 途 (非 特 定)	282	9	10	8	5	12	34	31	51	13	12	3	2		1	7	12	21	20	15	16
16の2	地 下 街	0																				
16の3	準 地 下 街	0																				
17	重 要 文 化 財	1															1					
18	ア ー ケ ード	3	1	2																		
19	指 定 山 林	0																				
20	指 定 舟 車	0																				

中高層建築物・地階用途別状況

平成29年4月1日現在

項別	階別	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	地階
		合計													
		709	157	131	39	22	24	13	10	15	5	4	6	6	165
1	イ	劇場・映画館													
	ロ	公会堂・集会場	2	3											1
2	イ	キャバレー等													
	ロ	遊技場	1	1											1
	ハ	性風俗関連店舗													
3	イ	料理店等													
	ロ	飲食店	3												1
4		百貨店・マーケット	11	4											7
5	イ	旅館・ホテル	3	2	1			1							3
	ロ	共同住宅・寄宿舎	161	65	107	22	17	17	11	8	11	5	4	6	6
6	イ	病院・診療所	9	4	3	2		2		2					
	ロ	福祉施設等	6	3											6
	ハ	福祉施設等	3	1			1		1						3
ニ	幼稚園	3													4
7		学校・各種学校	50	16	2	2									15
8		図書館・美術館等	3												1
9	イ	特殊浴場													
	ロ	イ以外の公衆浴場	1												
10		停車場													
11		神社・教会	6												4
12	イ	工場・作業所	91	10	2	2									17
	ロ	テレビスタジオ等													
13	イ	自動車車庫	3	1	2										7
	ロ	飛行機等の格納庫													
14		倉庫	49	7	1										11
15		事務所等	64	10	3	2	1								27
16	イ	複合用途(特定)	128	21	5	6	2	4	1		2				26
	ロ	複合用途(非特定)	112	9	5	3	1				2				13
16の2		地下街													
16の3		準地下街													
17		重要文化財													
18		アーケード													
19		指定山林													
20		指定船車													

査察実施率の推移

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
瀬戸市	5.2	11.9	12.5	16.4	20.6
愛知県	21.1	21.3	20.5	20.0	
全国	22.1	22.3	21.5	21.2	

※ 平成28年度の全国及び愛知県の査察実施率は、平成28年5月末現在日未発表

防 火 管 理 者 選 任 状 況

平成29年4月1日

項別	区 分		防火管理者の選任が必要な防火対象物数	防火管理者の選任届が提出されている防火対象物数	届出率%
	合 計		912	766	84
1	イ	劇場・映画館	4	4	100
	ロ	公会堂・集会場	101	60	59
2	イ	キャバレー等	—	—	—
	ロ	遊 技 場	8	8	100
	ハ	性風俗関連店舗	—	—	—
	ニ	個室を有する店舗	2	2	100
3	イ	料理店等	—	—	—
	ロ	飲 食 店	58	47	81
4	百貨店・マーケット		116	104	90
5	イ	旅館・ホテル	10	10	100
	ロ	共同住宅・寄宿舎	120	111	93
6	イ	病院・診療所	17	16	94
	ロ	福祉施設・更正施設	51	50	98
	ハ	福祉施設・更正施設	52	49	94
	ニ	幼 稚 園	8	8	100
7	学校・各種学校		48	41	85
8	図書館・美術館等		7	7	100
9	イ	特殊浴場	—	—	—
	ロ	イ以外の公衆浴場	3	2	67
10	停 車 場		—	—	—
11	神 社 ・ 教 会		30	20	67
12	イ	工場・作業所	59	56	95
	ロ	テレビスタジオ等	—	—	—
13	イ	自動車車庫	—	—	—
	ロ	飛行機等の格納庫	—	—	—
14	倉 庫		7	5	71
15	事 務 所 等		64	61	95
16	イ	複合用途(特定)	124 (15)	94 (2)	76(13)
	ロ	複合用途(非特定)	22 (1)	10 (0)	45(0)
16の2	地 下 街		—	—	—
16の3	準 地 下 街		—	—	—
17	重 要 文 化 財		1	1	100
18	ア ー ケ ー ド		—	—	—
19	指 定 山 林		—	—	—
20	指 定 舟 車		—	—	—

() 内は統括防火管理対象物を再掲

防 火 管 理 講 習 実 施 状 況

平成28年度

甲種防火管理新規講習		甲種防火管理再講習(三市共同開催)		乙種防火管理講習	
回数	修了者数	回数	修了者数	回数	修了者数
2	71	1	27	2	26

危険物施設等連區別設置状況

平成29年4月1日現在

連區別		合計	道	深	古	東	祖	陶	長	效	水	水	西	原	萩	八	品	下	山	本	菱	新	
施設別			合計	泉	川	瀬	明	母	原	根	範	南	野	陵	山	山	幡	野	品	野	口	地	野
危険物施設	製造所	335	11	4	4	29	3	11	27	16	15	73	0	0	0	0	14	36	13	28	45	6	
	貯蔵所	屋内(特定)	3										1					2					
		屋外タンク	44		1		1		1	2	2		19					1	2		11	3	1
		屋内タンク	(8)							(1)	(1)	(1)	(3)								(1)	(1)	
		地下タンク	34				11						9						10	1	1	2	
		簡易タンク	33	4	2	1	4	1	2	2	2		5					2	3	1	3	1	
		移動タンク	44					1	1	5	3	6	9					3	1	5	1	6	3
		屋外	4				1											3					
	取扱所	給油(自家用)	58	5				1	3	8	2	3	7					2	8		3	16	
		一般	5																		1	4	
		販売	56			3	3		4	7	3	2	7					3	6	4	5	7	2
		(29)	(2)	(3)		(1)	(2)	(1)	(1)	(4)								(2)	(2)	(2)	(4)	(5)	
	貯蔵・取扱数量別	指定数量の5倍以下	53	2	1		9		3	3	4	16							4	2	3	6	
		5倍を超え10倍以下	1							1													
		10倍を超え50倍以下	140	8	1		8	3	5	12	7	4	36					9	12	7	9	18	1
50倍を超え100倍以下		67	2	2	1	9			3	4	4	16					2	6	3	8	4	3	
100倍を超え150倍以下		90	1	1	1	10		3	7	3	6	13					2	14	1	10	18		
150倍を超え200倍以下		12			1	2						4					1	1				3	
200倍を超え250倍以下		5						1	1			2						1					
250倍を超え300倍以下		5										1						2		1	1		
300倍を超えるもの		7			1			1	2	1		1									1		
少量危険物施設	8							1	2	1	1							1			2		
指定可燃物施設	1																	1					
圧縮アセチレンガス施設	521	23	15	17	30	23	34	38	43	18	86	4	4	2	2	40	31	20	62	13	16		
液化石油ガス施設	85	2		2	6	1	3	4	4	1	27					7	5	3	16	3	1		
毒物・劇物施設	4								1		1							1	1				
合計	1003	44	33	51	91	50	49	73	67	44	86	7				70	106	91	50	52	39		
	22		2		1		1		2	1	4						2		3	6			

() 内は再掲

危険物施設に関する申請等の件数

平成28年度

施設区分		合計	製造所	貯蔵所							取扱所		
				屋内(特定)	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油(自家用)	一般	販売
合計		89	4	7 (2)			17		14	1	25 (4)	21	
許可	設置	10	2	2 (1)			1		4			1	
	変更	31	2	1			5		3		12 (2)	8	
完成検査		10		2			1		4			3	
仮使用承認		23		1			5				10 (1)	7	
廃止・転出		13		1			5		3	1	1 (1)	2	
予防規程認可		2									2		
完成検査前検査													

仮貯蔵・仮取扱承認

1

() 内は再掲

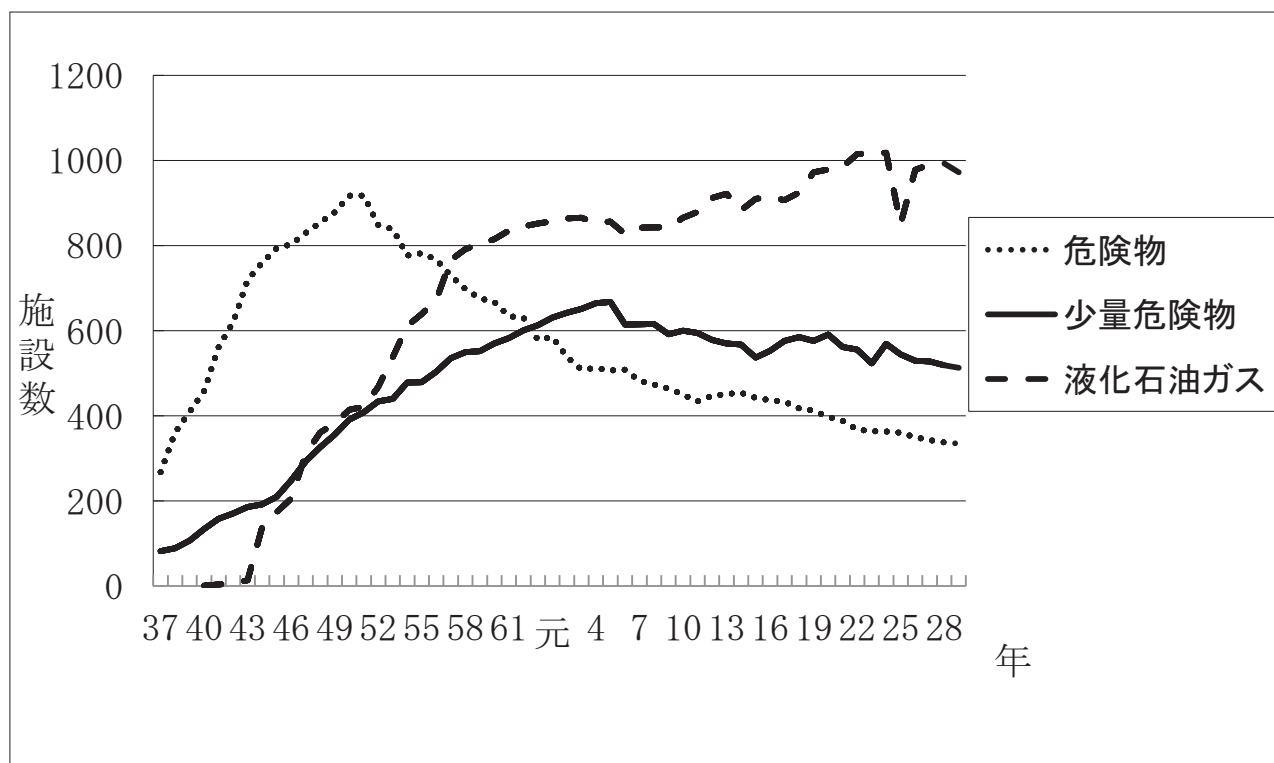
危険物施設等の10年間の推移

各年度4月1日現在

年度別		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
施設別	製造所	398	388	368	364	363	360	350	343	338	335
	危険物施設	貯蔵所	1	1	1	1	1	1	1	1	1
屋内 (特定)		40 (9)	38 (8)	38 (8)	39 (8)	39 (8)	39 (8)	39 (8)	41 (8)	43 (8)	44 (9)
屋外タンク		36	37	37	37	36	36	35	35	34	34
屋内タンク		41	40	40	36	36	33	33	33	33	33
地下タンク		56	55	53	52	54	51	48	48	48	44
簡易タンク		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
移動タンク		88	83	71	73	73	72	68	64	57	58
屋外		4	4	4	5	5	5	5	5	6	5
取扱所		69 (33)	67 (33)	64 (31)	63 (30)	61 (30)	62 (31)	60 (30)	58 (29)	57 (30)	56 (29)
一般販売		58	58	55	53	53	56	56	53	54	53
少量危険物施設	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
液化石油ガス施設	591	562	556	523	569	554	529	528	519	513	
液化石油ガス施設	979	985	1015	1017	1018	850	978	990	993	972	

()内は再掲

危険物施設等の推移



消 防 関 係 団 体

瀬 戸 市 危 険 物 安 全 協 会

この協会は、危険物、液化石油ガスに起因する災害の発生を防止し、社会公共の福祉の増進に寄与する目的で昭和32年4月に設立されました。

防火広報活動、各種予防運動の主催及び講演会並びに各種講習会を開催し、危険物等の貯蔵、取扱いに必要な知識、技術の習得、施設の適正管理及び一般火災予防に関する知識の普及等活発な活動を行っています。

平成29年4月1日現在

名 称	愛知県陶磁器工業協同組合						品 野 工 組	赤 津 焼 工 組	硅 砂 組 合	浴 場 組 合	自 家 給	石 油 組 合	企 業 団 地	油 関 係	エ ル ピ ー 旭 分 ガ ス 会	そ の 他	
	テ ー ブル ウ ェ ア	陶 芸	赤 津 製 品	オ ー ナ メ ン ト ウ ェ ア	工 業 品	フ ァ イ ン セ ラ ミ ッ ク ス											
合 計	35	10	12	30	39	18	34	6	8	2	16	17	17	3	20	52	
319	144																

瀬 戸 市 自 衛 消 防 連 絡 協 議 会

昭和52年に地域及び事業所の自衛消防組織をもって協議会を発足し、平成18年の組織改変により、現在は事業所の自衛消防隊のみで組織されています。各組織とも可搬消防ポンプ等により消防隊を編成し、事業所における火災等、各種災害の防ぎょ活動や予防広報活動を行っています。

各自衛消防隊と「地震等大規模災害時における消防業務に関する協定」を締結し、大規模な災害が発生した場合、消火活動や人命救助活動に協力を求めることとしています。

平成29年4月1日現在

結成年月日	隊 名	人 員	結成年月日	隊 名	人 員
S45. 12. 1	㈱成田製陶所本社工場消防隊	4	S61. 3. 10	リンナイ㈱瀬戸工場消防隊	10
S47. 4. 1	㈱成田製陶所山口工場消防隊	21	H 2. 10. 1	品野セラミックタイル工業㈱消防隊	12
S49. 8. 1	東芝ライフスタイル㈱愛知事業所消防隊	9	〃	豊精密工業㈱消防隊	14
S50. 7. 1	㈱ マ ル イ チ 消 防 隊	7	H 6. 4. 1	富士特殊紙業㈱消防隊	20
S52. 4. 1	伊藤忠セラテック㈱消防隊	22	H13. 4. 1	河村電器産業㈱本地工場消防隊	10
S56. 2. 1	河村電器産業㈱暁工場消防隊	18	H20. 4. 1	豊田合成㈱瀬戸工場消防隊	54
S56. 4. 1	ホームユ-㈱瀬戸工場消防隊	113	H21. 8. 6	テクノエイト㈱消防隊	28
S57. 4. 1	鈴一物産㈱消防隊	4	合 計	16隊	357
S59. 3. 30	㈱東濃 LIXIL 製作所消防隊	11			

瀬戸市婦人消防隊連絡協議会

各地域婦人（女性）防火クラブ相互の連絡協調を図り、家庭における火災予防思想の普及を目的として、平成元年4月1日に協議会が発足されました。

平成29年4月1日現在

結成年月日	クラブ名称	人員	結成年月日	クラブ名称	人員
S58. 4. 1	定光寺町婦人防火クラブ	49	H 2. 8.20	道泉女性防火クラブ	53
S59.11.25	陶原婦人防火クラブ	11	H 9. 4. 1	下品野女性防火クラブ	48
S60.12.15	深川婦人防火クラブ	21	H13. 3.30	祖母懐婦人防火クラブ	34
S62. 7.14	幡山女性防火クラブ	53	H21. 8.27	西陵女性防火クラブ	29
H 1. 8.10	水野婦人防火クラブ	24	H27. 9.28	效範女性防火クラブ	30
			合 計	10クラブ	352

瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会

学校教育の課外活動や地域活動の中で防火思想の普及に協力活動しています。また、平成12年4月1日に少年消防クラブから瀬戸市少年消防クラブ連絡協議会に名称を変更し設立しました。

平成29年4月1日現在

結成年月日	クラブ名	人員	結成年月日	クラブ名	人員
S36. 6.19	水南小学校少年消防クラブ	541	H 4. 9.14	祖母懐小学校少年消防クラブ	121
S43. 1.20	長根小学校少年消防クラブ	498	H18. 7. 6	幡山西小学校少年消防クラブ	546
S56. 9.18	品野台少年消防クラブ	84	H23. 4. 1	道泉小学校少年消防クラブ	212
S57. 7.18	八幡小学校少年消防クラブ	250	〃	東明小学校少年消防クラブ	101
S59. 9. 1	古瀬戸小学校少年消防クラブ	91	H23. 7. 8	深川小学校少年消防クラブ	50
S60. 4. 1	西陵小学校少年消防クラブ	760	H23. 7. 8	特別支援学校少年消防クラブ	38
〃	下品野小学校少年消防クラブ	455	H23. 7.20	陶原小学校少年消防クラブ	638
S60. 6. 1	東山小学校少年消防クラブ	770	H23. 7.25	效範小学校少年消防クラブ	549
〃	水野小学校少年消防クラブ	438	H24. 6.21	掛川小学校少年消防クラブ	38
S60. 6. 3	萩山小学校少年消防クラブ	108	H24. 6.25	原山小学校少年消防クラブ	241
S60. 6.17	幡山東小学校少年消防クラブ	459	合 計	21クラブ	6,988

結成年月日	クラブ名	人員	結成年月日	クラブ名	人員
H23. 4. 1	本山中学校少年消防クラブ	92	H24. 5	水無瀬中学校少年消防クラブ	644
〃	幡山中学校少年消防クラブ	541	H24. 5	光陵中学校少年消防クラブ	274
〃	水野中学校少年消防クラブ	473	H24. 6	品野中学校少年消防クラブ	235
H23. 7. 5	祖東中学校少年消防クラブ	171	H26. 4. 1	特別支援学校少年消防クラブ	16
H23. 7.20	南山中学校少年消防クラブ	992	合 計	9クラブ	3,438

瀬戸市幼年消防クラブ

このクラブは、幼年期において正しい火の取扱いについて学び、消防の仕事を理解させることで、火遊び等による火災の減少を図り、将来の地域防災を担う人材を育成するとともに、園児を介して家族等にも防火等に関する広報活動を行うことを目的に平成23年5月23日に結成されました。

平成29年4月1日現在

加入年月日	園名	人員	加入年月日	園名	人員
H23. 5. 23	幡山南保育園	72	H23. 5. 23	瀬戸北保育園	95
H23. 5. 23	八幡保育園	57	H23. 5. 23	萩山保育園	87
H23. 5. 23	水北保育園	137	H23. 5. 23	みずの保育園	105
H23. 5. 23	古瀬戸保育園	62	H23. 5. 23	ふたば保育園	85
H23. 5. 23	アートチャイルドケア瀬戸幡山西 (旧幡山西保育園)	111	H23. 5. 23	キッズプラザアスク 新瀬戸	110
H23. 5. 23	品野西保育園	119	H23. 5. 23	ひなご幼稚園	141
H23. 5. 23	こうはん保育園	94	H23. 5. 23	雪の聖母幼稚園	52
H23. 5. 23	原山保育園	81	H23. 5. 23	マリア幼稚園	239
H23. 5. 23	水南保育園	109	H23. 5. 23	真貴幼稚園	362
H23. 5. 23	西保育園	102	H23. 5. 23	菱野幼稚園	406
H23. 5. 23	南保育園	121	H23. 5. 23	はちまん幼稚園	240
H23. 5. 23	幡山東保育園	114	H23. 5. 23	瀬戸幼稚園	404
H23. 5. 23	アートチャイルドケア瀬戸南山 (旧こうはん南保育園)	130	合計	26園	3,741
H23. 5. 23	東保育園	106			

防 災 会

防災会は、アーケード内の商店街を中心として、隣接する密集家屋等の特殊地域を火災から守るため、会員相互による防災対策の検討や各種の防火思想の普及活動をしています。

また、近年は年末年始等に火災警戒のための警戒巡回や広報活動も活発に実施しています。

平成29年4月1日現在

結成年月日	名称	人員
S55. 12. 1	未広町防災会	7
S56. 12. 1	朝日町防災会	10

安心・安全トピックス

わんわん消防隊

近年のペットブームを受け、飼い主とペットが定期的に行う散歩又は飼い主同士のコミュニケーションの場を利用し、防火・防災等のPRをすることを目的として発足しました（平成24年11月）。

朝夕に見かける飼い主とペットの散歩は非常に多く、愛犬に消防隊メダルを着けてもらうとともに、飼い主には消防隊員証を発行し、消防隊員という名の下、防火意識の普及啓発に効果をあげています。

平成29年4月1日現在

年度	H25	H26	H27	H28	H29
登録状況（頭）	167	237	236	247	257



火の用心



救急安心たまご

救急安心たまごは、緊急連絡先や既往歴などの必要事項を記入した安心カードをカプセルに入れて、自宅冷蔵庫の卵ケースに保管しておきます。

冷蔵庫のドアに貼られたシールを目印に、救急隊が傷病者の情報を正確に入手する手段として活用します。

救急安心たまご配布状況（平成22年から）

平成29年4月1日現在（各年中）

H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	合計
2,991	1,311	1,046	970	523	410	649	7,900

第4編

火災統計

平成28年中の火災発生状況と前年との比較

区 分	平成28年 (A)	平成27年 (B)	増減 (A)-(B)=(C)	増減率 (%) (C)/(B)×100
出 火 件 数 (件)	36	31	5	16.1
建物火災	18	15	3	20.0
林野火災	0	2	▲ 2	▲ 100.0
車両火災	2	2	0	0.0
船舶火災	0	0	0	0.0
航空機火災	0	0	0	0.0
その他火災	16	12	4	33.3
焼 損 棟 数 (棟)	21	19	2	10.5
全 焼	2	4	▲ 2	▲ 50.0
半 焼	2	2	0	0.0
部 分 焼	9	4	5	125.0
ぼ や	8	9	▲ 1	▲ 11.1
建物焼損床面積 (㎡)	364	334	30	9.0
建物焼損表面積 (㎡)	71	2	69	3,450.0
林野焼損面積 (a)	0	47	▲ 47	▲ 100.0
死 者 (人)	0	1	▲ 1	▲ 100.0
負 傷 者 (人)	5	6	▲ 1	▲ 16.7
り 災 世 帯 数 (世帯)	21	10	11	110.0
全 損	3	1	2	200.0
半 損	1	1	0	0.0
小 損	17	8	9	112.5
り 災 人 員 (人)	47	30	17	56.7
損 害 額 (千円)	40,556	26,840	13,716	51.1
建物火災	39,893	19,863	20,030	100.8
林野火災	0	0	0	0.0
車両火災	345	6,975	▲ 6,630	▲ 95.1
船舶火災	0	0	0	0.0
航空機火災	0	0	0	0.0
その他火災	318	2	316	15,800.0
出 火 率 (件/万人)	2.8	2.4	0.4	—

※ ▲は減少を示す。

原因別・用途別火災状況

平成28年中

用途 出火原因	出火件数合計	建 物 火 災								林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 火 災	焼 損 面 積		死 傷 者 数		損 害 額 (千円)	
		小 計	住 宅		産 業 用				建 物 (㎡)				林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
			専 用 住 宅	併 用 住 宅	事 務 所	工 場 ・ 作 業 所	店 舗	そ の 他										
放火・放火の疑い	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	15	0	0	0	1	344	
こ ん ろ	2	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	77
た ば こ	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	38	0	0	0	0	2676	
た き 火	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	1	0	
火 あ そ び	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
焼 却 炉	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
配 線 器 具	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	526	
ス ト ー ブ	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
マッチ・ライター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
火 入 れ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
排 気 管	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	315	
電 気 機 器	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
電灯・電話等の配線	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
そ の 他	12	6	3	0	0	3	0	0	0	1	5	156	0	0	0	1	17,542	
不 明	5	3	2	0	0	0	1	0	0	0	2	144	0	0	0	0	19,073	
合 計	36	18	12	0	0	4	2	0	0	2	16	364	0	0	0	5	40,556	

初期消火実施状況

平成28年中

区分 火災種別	火災件数 (A)	初期消火 実施件数 (B)	初 期 消 火 の 種 類				実施率(%) (B)/(A)	平成27年 実施率(%)
			消火器	水バケツ	水道水・ 汲み置き水等	その他		
建物火災	18	10	6	0	2	2	55.6	66.7
林野火災	0	0	0	0	0	0	-	50.0
車両火災	2	2	2	0	0	0	100.0	100.0
その他火災	16	11	3	0	7	1	68.8	41.7
合 計	36	23	11	0	9	3	63.9	58.1

出火原因別（発火源・経過・着火物）火災発生件数

平成28年中

原因	計	発火源	計	経過	計	着火物	計
たき火	6	たき火の火の粉	3	火の粉が散る遠くへ飛火する	2	その他	2
				火の粉が散る	1	枯草	1
		たき火（焼却火）	1	火源が動いて接触する	2	その他	1
		たき火	2		枯草	2	
放火・放火の疑い	3	その他	3	放火	1	枯草（助燃剤として第二石油類）	1
		その他のたばことマッチ		放火の疑い	2	自動販売機	1
		不明			2	第二石油類	1
こんろ	2	ガステーブル	1	放置する	1	動植物油類	1
		大型こんろ	1	過熱する	1	動植物油	1
たばこ	2	たばこ	2	火源が動いて接触する	1	ふとん	1
				可燃物が動いて火源に触れる	1	ごみ屑	1
焼却炉	1	ごみ焼却炉の火の粉	1	火の粉が散る	1	合成樹脂屑	1
配線器具	1	プラグ	1	スパークする	1	合成樹脂と成形品	1
ストーブ	1	石油ストーブ（半密閉式）	1	放置する、忘れる	1	その他	1
排気管	1	排気管	1	不適當なところに捨て置く	1	紙屑（新聞紙）	1
電気器機	1	コンピュータ（本体）	1	その他	1	机	1
電灯・電話等の配線	1	配電線	1	電線が混触する	1	立木	1
溶接機・切断機	1	アセチレンガス切断機	1	火の粉が散る	1	座席シート	1
取灰	1	取灰	1	不適當なところに捨て置く	1	立木	1
その他	10	点火用火口棒	2	引火する	3	ブタンガス	2
		炊飯器	1			LPGガス	1
		パイプヒーター	1	過熱する	1	合成樹脂の成形品	1
		火のついた紙	1	火源が動いて接触する	1	立木	1
		直接雷	1	落雷する	1	柱上エントランス	1
		その他の自然発火しやすい油類（なたね油）	1	自然発火する	1	油ぼろ（油がしみ込んだ布類）	1
		灯光器	1	その他	1	その他	1
		野積みのごみ	1	消したはずのものが再燃する	2	枯草	2
その他	1						
不明	5	不明	5	不明	5	枯草	1
						不明	4

署 所 別・連 区 別 火 災 状 況

平成28年中

区分 署所別・連区別	出 火 件 数					焼 損 棟 数	焼 損 面 積		死 傷 者 数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員	損 害 額 (千円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他		建 物 (m ²)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
消防署	9	3	0	0	6	7	103	0	0	1	6	17	15,465
東分署	16	7	0	2	7	7	156	0	0	2	6	15	17,621
南分署	11	8	0	0	3	7	105	0	0	2	9	15	7,470
合 計	36	18	0	2	16	21	364	0	0	5	21	47	40,556
道 泉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
深 川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
古瀬戸	2	2	0	0	0	3	156	0	0	0	3	4	14,060
東 明	3	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	30
祖母懐	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4	195
陶 原	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長 根	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	5
效 範	2	2	0	0	0	2	0	0	0	1	1	2	7
水 南	2	1	0	0	1	5	103	0	0	0	5	15	15,405
水 野	5	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	53
西 陵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原山台	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	37
萩山台	1	1	0	0	0	1	12	0	0	0	2	0	2,769
八幡台	1	1	0	0	0	0	11	0	0	0	2	5	526
品 野	5	1	0	1	3	1	0	0	0	2	1	3	516
下品野	4	2	0	0	2	0	0	0	0	0	1	4	2,820
山 口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本 地	2	1	0	0	1	1	29	0	0	0	0	0	1,164
菱 野	4	2	0	0	2	2	53	0	0	1	3	4	2,966
新 郷	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	3

曜 日 別 ・ 月 別 火 災 状 況

平成28年中

区分 曜日・月	出 火 件 数					焼 損 棟 数	焼 損 面 積		死 傷 者 数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員	損 害 額 (千円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他		建 物 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
月曜日	7	1	0	1	5	1	0	0	0	0	1	2	348
火曜日	2	2	0	0	0	2	0	0	0	1	1	4	77
水曜日	7	6	0	1	0	6	40	0	0	1	5	14	4,693
木曜日	3	2	0	0	1	1	15	0	0	1	1	2	492
金曜日	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
土曜日	8	3	0	0	5	4	156	0	0	1	3	4	14,060
日曜日	8	4	0	0	4	7	153	0	0	1	10	21	20,886
合 計	36	18	0	2	16	21	364	0	0	5	21	47	40,556
1 月	4	2	0	0	2	2	0	0	0	0	1	1	1
2 月	4	2	0	1	1	7	259	0	0	1	7	18	29,494
3 月	9	5	0	0	4	5	67	0	0	0	4	8	3,774
4 月	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2,750
5 月	5	4	0	0	1	3	26	0	0	2	5	10	857
6 月	3	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	4	271
7 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 月	5	1	0	0	4	1	12	0	0	0	2	3	3,087
9 月	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	3	315
10 月	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	7
11 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12 月	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0

天 候 別 火 災 状 況

平成28年中

区分 天 候	出 火 件 数					焼 損 棟 数	焼 損 面 積		死 傷 者 数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員	損 害 額 (千円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他		建 物 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
快晴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
晴	20	8	0	1	11	11	132	0	0	0	9	24	19,341
曇	11	6	0	1	4	5	27	0	0	5	5	9	3,620
雨	5	4	0	0	1	5	205	0	0	0	7	14	17,595
雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	36	18	0	2	16	21	364	0	0	5	21	47	40,556

時 間 別 火 災 状 況

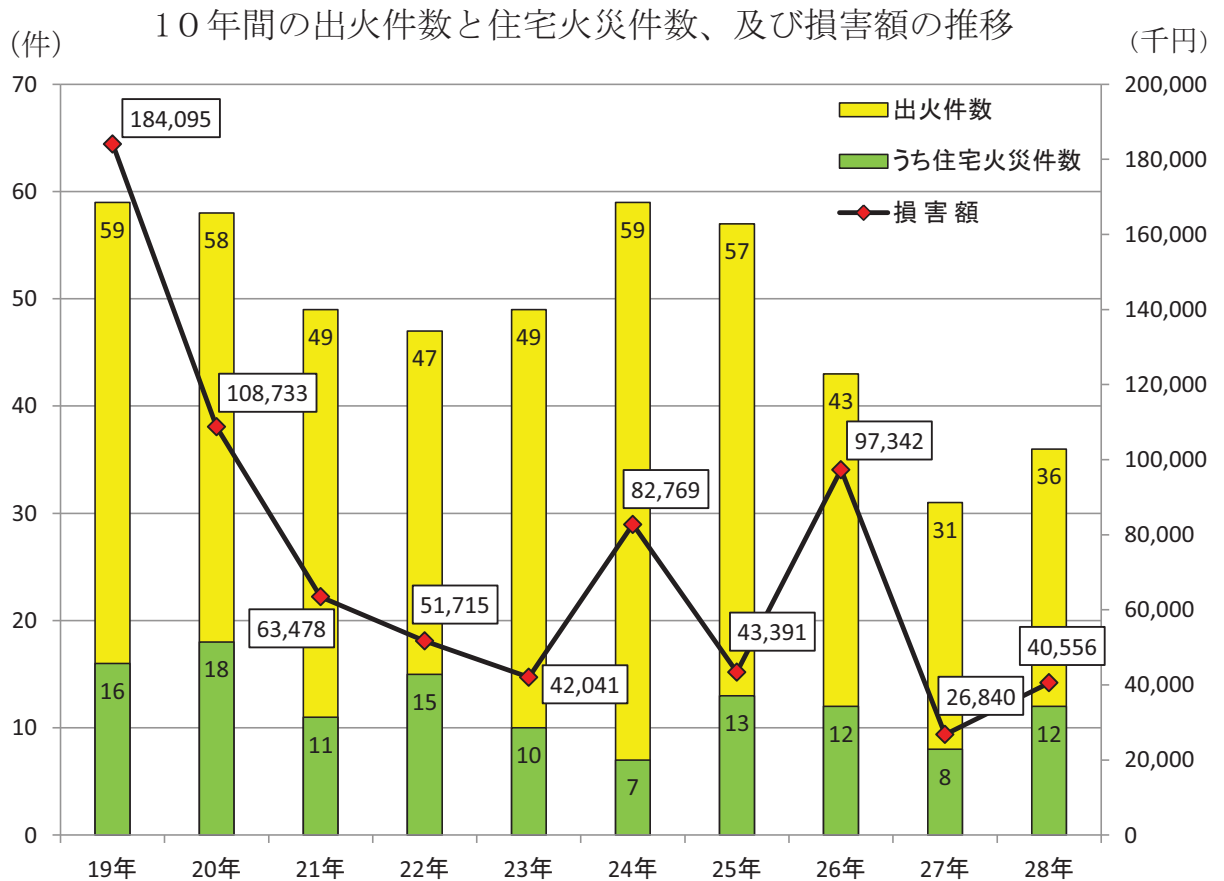
平成28年中

区分 時間	出 火 件 数					焼 損 棟 数	焼 損 面 積		死 傷 者 数		り 災 世 帯 数	り 災 人 員	損 害 額 (千円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他		建 物 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者			
0時～1時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1時～2時	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4	70
2時～3時	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	53
3時～4時	1	1	0	0	0	1	11	0	0	0	2	5	526
4時～5時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5時～6時	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5
6時～7時	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	201
7時～8時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8時～9時	2	1	0	1	0	1	15	0	0	1	1	2	321
9時～10時	1	1	0	0	0	5	103	0	0	0	5	15	15,405
10時～11時	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0
11時～12時	5	2	0	0	3	1	0	0	0	1	0	0	2,757
12時～13時	4	2	0	1	1	3	12	0	0	1	4	7	3,085
13時～14時	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	2	3
14時～15時	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
15時～16時	3	2	0	0	1	3	185	0	0	0	2	3	14,958
16時～17時	2	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	265
17時～18時	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
18時～19時	2	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	37
19時～20時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20時～21時	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	4	195
21時～22時	1	1	0	0	0	1	38	0	0	0	2	2	2,675
22時～23時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23時～24時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	36	18	0	2	16	21	364	0	0	5	21	47	40,556

10年間の火災状況

区分 年別	出火件数						焼損面積		死傷者数		損害額 (千円)
	合計	建物	住宅	林野	車両	その他	建物 (㎡)	林野 (a)	死者	負傷者	
平成19年	59	25	(16)	10	8	16	3,324	47	1	6	184,095
平成20年	58	26	(18)	7	7	18	1,300	24	2	6	108,733
平成21年	49	18	(11)	10	3	18	310	25	2	10	63,478
平成22年	47	21	(15)	9	2	15	532	17	3	3	51,715
平成23年	49	21	(10)	8	5	15	619	188	3	6	42,041
平成24年	59	19	(7)	6	9	25	1,125	53	2	5	82,769
平成25年	57	21	(13)	9	4	23	498	79	1	8	43,391
平成26年	43	16	(12)	6	7	14	773	15	1	6	97,342
平成27年	31	15	(8)	2	2	12	334	47	1	6	26,840
平成28年	36	18	(12)	0	2	16	364	0	0	5	40,556
10年間平均	49	20	(12)	7	5	17	918	50	2	6	74,096

() の数字は住宅火災の件数

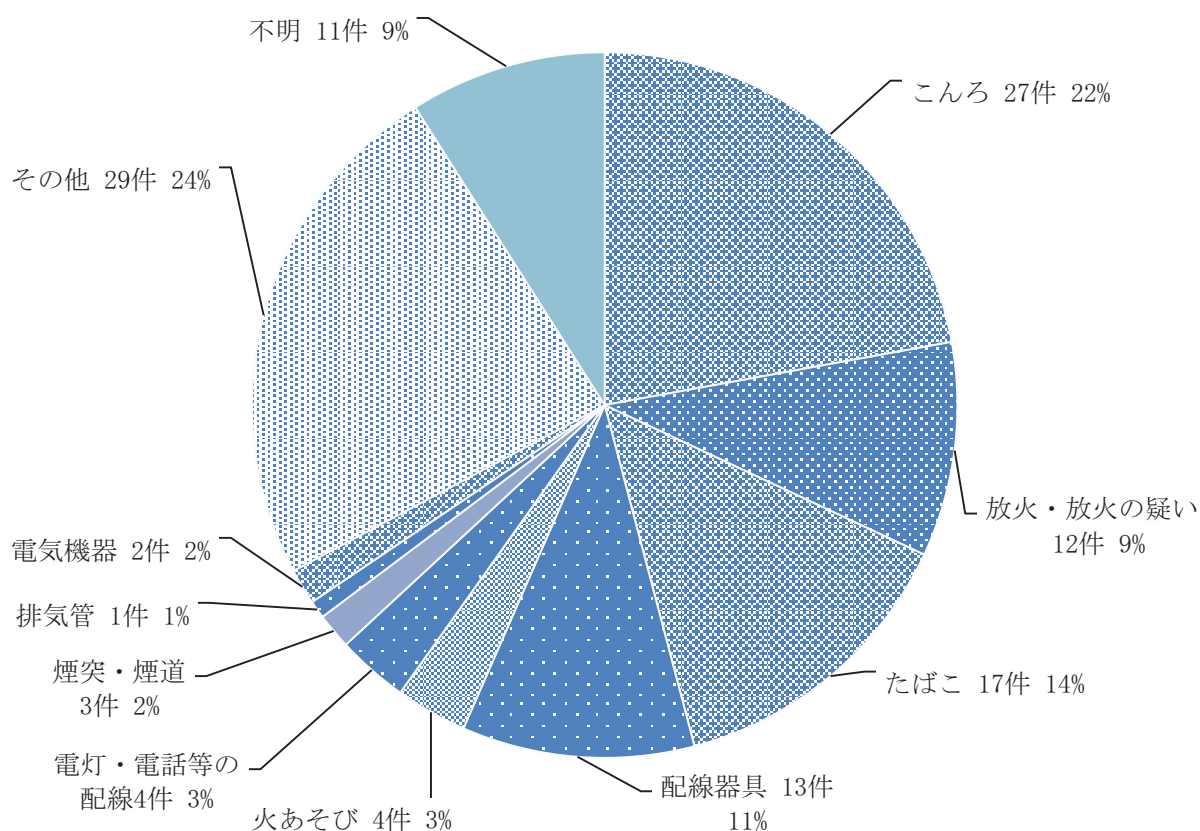


10年間の住宅火災の状況

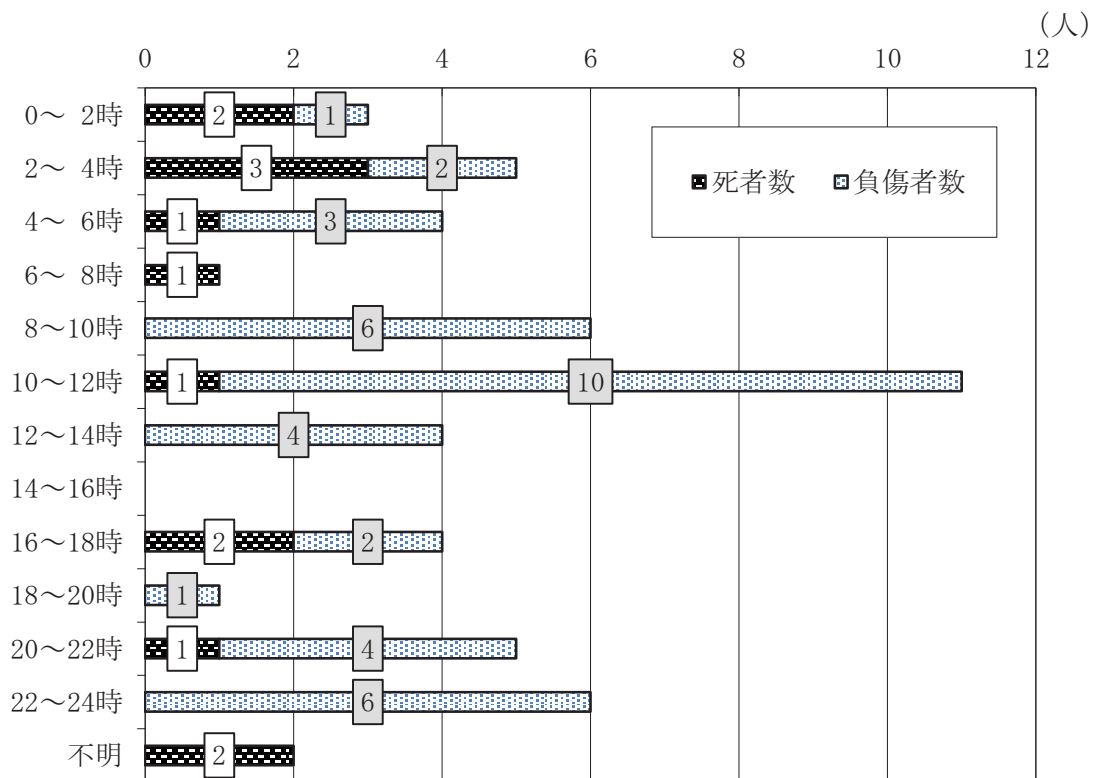
年別	区分 出火 件数	焼損棟数					死傷者数		損害額 (千円)
		全焼	半焼	部分焼	ぼや	爆発	死者	負傷者	
平成19年	16	3	2	9	5	0	1	2	71,096
平成20年	18	2	1	6	13	0	1	3	98,034
平成21年	11	2	0	3	7	0	2	7	47,442
平成22年	15	4	2	5	12	0	2	3	38,881
平成23年	10	3	1	3	6	0	3	3	21,387
平成24年	7	2	1	5	4	0	2	3	15,541
平成25年	13	2	0	3	8	0	1	7	43,391
平成26年	12	3	1	7	8	0	0	5	47,663
平成27年	8	1	2	2	6	0	1	4	18,226
平成28年	12	2	2	7	5	0	0	5	36,031
10年間合計	122	24	12	50	74	0	13	42	437,692
10年間平均	12	2	1	5	7	0	1	4	43,769

死傷者数は放火自殺者等を除く。

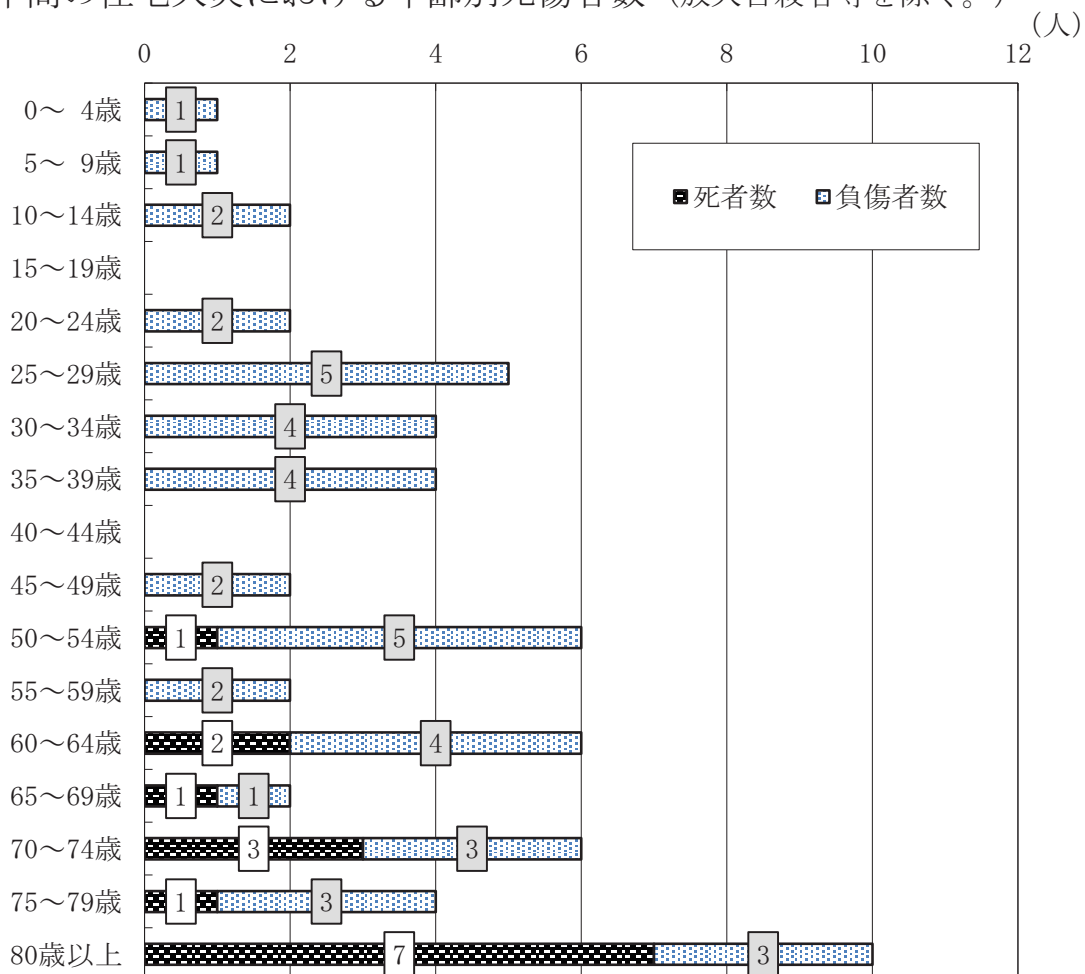
10年間の住宅火災における出火原因別件数



10年間の住宅火災における時間別死傷者数（放火自殺者を除く。）



10年間の住宅火災における年齢別死傷者数（放火自殺者等を除く。）



10年間の主な火災

区分 年月日	発生場所	火元用途	出火原因	焼損面積	死傷者数		損害額 (千円)
					死者	負傷者	
H19. 1. 1	仲切町	作業所	不明	1,212 m ²	0	0	50,714
H19. 3. 13	東茨町	併用住宅	ドライヤー	106 m ²	0	0	28,018
H19. 3. 15	陶原町4丁目	併用住宅	たばこ	221 m ²	1	0	7,590
H19. 3. 18	湯之根町	作業所	不明	633 m ²	0	0	13,155
H19. 7. 9	八幡台2丁目	共同住宅	放火	81 m ²	0	2	8,711
H19. 11. 18	原山町	学校	放火	656 m ²	0	0	40,275
H20. 12. 26	西古瀬戸町	併用住宅	バーナー	766 m ²	0	0	60,755
H21. 6. 12	道泉町	住宅	灯火	100 m ²	0	1	38,801
H22. 4. 18	原山町	住宅	不明	202 m ²	0	0	26,960
H22. 8. 26	元町1丁目	併用住宅	不明	88 m ²	1	0	1,321
H22. 11. 3	松原町2丁目	住宅	不明	47 m ²	1	0	1,562
H22. 1. 10	松原町3丁目	住宅	灯火	82 m ²	1	0	8,979
H22. 11. 5	上之山町1丁目	共同住宅	不明	23 m ²	2	0	1,022
H23. 4. 3	仲郷町	住宅	ストーブ	233 m ²	0	2	4,836
H23. 9. 26	宮地町	住宅	放火の疑い	55 m ²	0	0	6,242
H23. 12. 22	高根町1丁目	店舗	その他	69 m ²	0	0	8,352
H24. 6. 9	泉町	工場	電気配線	384 m ²	0	0	15,272
H24. 8. 3	本郷町	工場	電気機器	9 m ²	0	0	27,179
H24. 8. 14	今池町	共同住宅	蚊取り線香	431 m ²	1	1	14,290
H24. 12. 13	共栄通1丁目	住宅	不明	87 m ²	1	0	1,225
H25. 1. 28	内田町1丁目	住宅	ストーブ	14 m ²	0	0	2,140
H25. 5. 1	東十三塚町	住宅	その他	183 m ²	1	2	4,100
H25. 6. 30	原山台2丁目	住宅	灯火	132 m ²	0	0	11,440
H25. 11. 9	東菱野町	住宅	不明	134 m ²	0	4	20,761
H26. 2. 9	水北町	住宅	たばこ	236 m ²	0	0	12,439
H26. 4. 25	山路町	工場	衝撃火花	0 m ²	1	0	33,137
H26. 5. 5	東印所町	住宅	配席器具	178 m ²	0	2	3,430
H26. 5. 15	苗場町	共同住宅	こんろ	90 m ²	0	0	13,528
H26. 6. 4	坊金町	住宅	線香	118 m ²	0	1	8,965
H27. 5. 11	内田町1丁目	倉庫	配線器具	56 m ²	0	0	813
H27. 7. 2	十軒町	作業場	溶接機・切断機	100 m ²	0	0	246
H27. 9. 3	中水野町1丁目	住宅	不明	122 m ²	1	0	12,717
H28. 2. 20	西洞町	住宅	その他	156 m ²	0	0	14,059
H28. 2. 28	進陶町	住宅	不明	78 m ²	0	0	15,405
H28. 3. 13	東米泉町	共同住宅	たばこ	38 m ²	0	0	2,675
H28. 8. 28	萩山台6丁目	住宅	不明	12 m ²	0	0	2,769

第5編

救急・救助統計

事故種別救急出動件数及び搬送人員

年別 事故種別	平成28年中		平成27年中		対前年比		
	出動件数 (搬送人員)	構成比 (%)	出動件数 (搬送人員)	構成比 (%)	増減数	増減率 (%)	
急病	3,624 (3,450)	68.3 (68.1)	3,601 (3,439)	67.2 (67.8)	23 (11)	0.6 (0.3)	
一般負傷	754 (748)	14.2 (14.8)	758 (738)	14.1 (14.5)	▲4 (10)	▲0.5 (1.4)	
交通事故	452 (454)	8.5 (9.0)	479 (484)	8.9 (9.5)	▲27 (▲30)	▲5.6 (▲6.2)	
自損行為	43 (30)	0.8 (0.6)	36 (16)	0.7 (0.3)	7 (14)	19.4 (87.5)	
運動競技	44 (44)	0.8 (0.9)	39 (33)	0.7 (0.7)	5 (11)	12.8 (33.3)	
労働災害	60 (54)	1.1 (1.1)	48 (48)	0.9 (0.9)	12 (6)	25.0 (12.5)	
加害	12 (8)	0.2 (0.2)	22 (20)	0.4 (0.4)	▲10 (▲12)	▲45.5 (▲60.0)	
火災	5 (5)	0.1 (0.1)	6 (6)	0.1 (0.1)	▲1 (▲1)	▲16.7 (▲16.7)	
水難	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	- (-)	
自然災害	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	0.0 (0.0)	0 (0)	- (-)	
その他	転院搬送	267 (266)	5.0 (5.3)	288 (286)	5.4 (5.6)	▲21 (▲20)	▲7.3 (▲7.0)
	医師搬送	0 (0)	0.0 (0.0)	18 (0)	0.3 (0.0)	▲18 (0)	▲100.0 (-)
	資材搬送	0 (0)	0.0 (0.0)	1 (0)	0.0 (0.0)	▲1 (0)	- (-)
	その他	43 (4)	0.8 (0.1)	64 (3)	1.2 (0.1)	▲21 (1)	▲32.8 (33.3)
合計	5,304 (5,063)	100.0 (100.0)	5,360 (5,073)	100.0 (100.0)	▲56 (▲10)	▲1.0 (▲0.2)	

※ ▲は減少を示す。

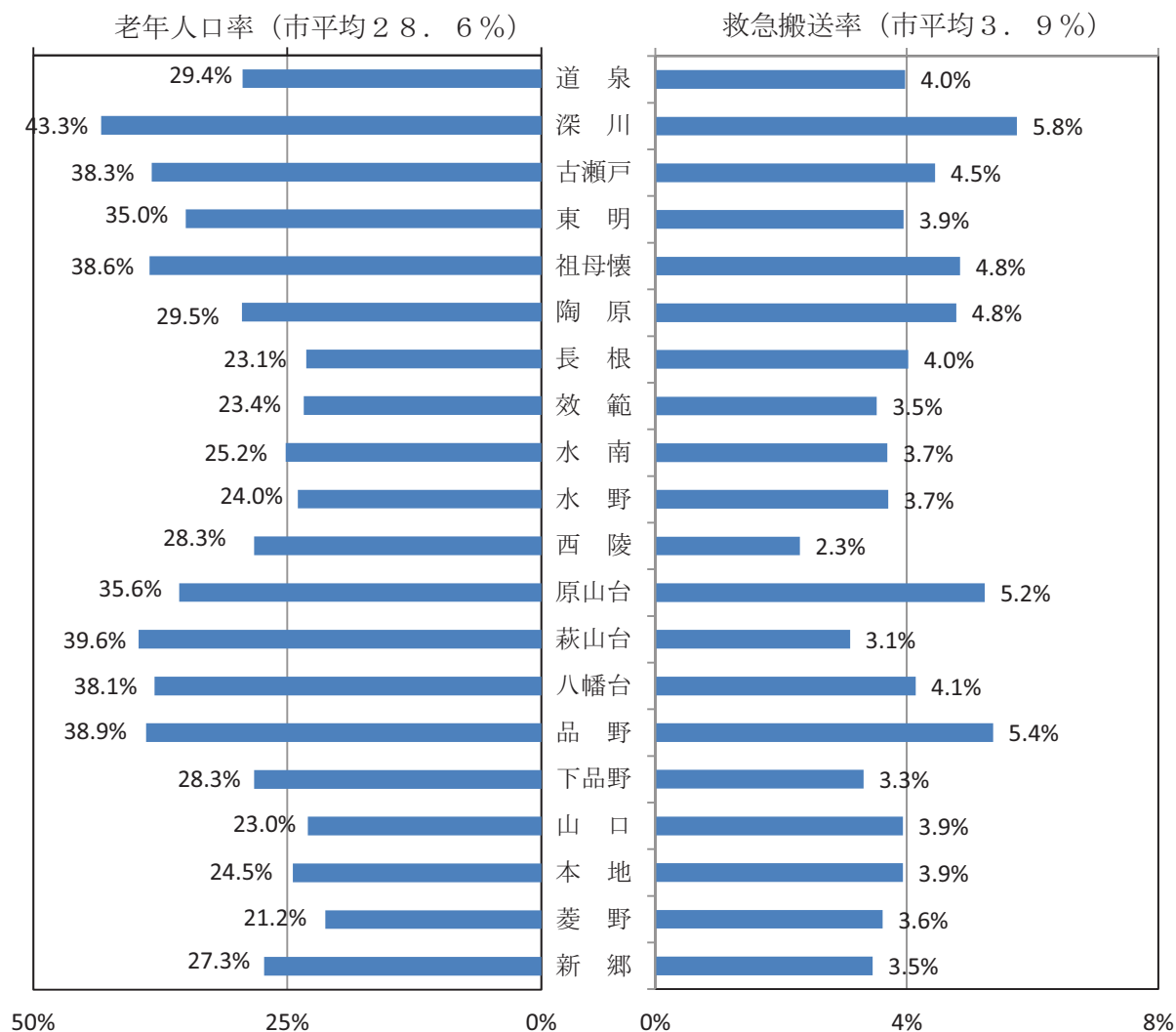
署所別救急出動件数

平成28年中

区 分	合 計	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	そ の 他			
												転院 搬送	医師 搬送	資材 搬送	その他
消 防 署	1,200	0	0	0	82	9	5	168	1	11	837	78	0	0	9
東 分 署	979	0	0	0	82	15	8	151	2	5	695	16	0	0	5
南 分 署	1,300	1	0	0	104	13	18	171	6	11	902	68	0	0	6
救急対策室	1,825	4	0	0	184	23	13	264	3	16	1,190	105	0	0	23
合 計	5,304	5	0	0	452	60	44	754	12	43	3,624	267	0	0	43

連区別の老年人口率と救急搬送率

平成28年中



※ 老年人口率：各連区の総人口のうち65歳以上人口が占める割合
 救急搬送率：各連区の総人口のうち救急搬送された人員の割合

曜日別・月別救急出動件数

平成28年中

区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
月	800	0	0	0	65	9	5	111	0	8	552	50
火	755	1	0	0	62	6	3	101	2	5	520	55
水	748	1	0	0	71	14	6	122	2	7	478	47
木	730	1	0	0	56	10	4	90	1	3	525	40
金	744	0	0	0	54	11	2	105	2	4	512	54
土	779	1	0	0	89	7	14	115	3	6	498	46
日	748	1	0	0	55	3	10	110	2	10	539	18
合計	5,304	5	0	0	452	60	44	754	12	43	3,624	310
1月	446	0	0	0	36	4	0	68	0	4	309	25
2月	435	1	0	0	42	2	2	46	0	5	307	30
3月	452	0	0	0	30	5	2	69	2	4	313	27
4月	396	0	0	0	27	7	4	57	2	0	278	21
5月	446	2	0	0	53	4	5	53	2	3	302	22
6月	388	0	0	0	37	6	6	59	0	5	259	16
7月	466	0	0	0	43	4	7	64	2	6	313	27
8月	458	0	0	0	36	9	3	63	1	7	314	25
9月	407	1	0	0	27	3	4	54	0	4	286	28
10月	449	1	0	0	36	7	1	90	1	3	274	36
11月	449	0	0	0	47	3	5	58	1	1	316	18
12月	512	0	0	0	38	6	5	73	1	1	353	35

時間別救急出動件数

平成28年中

区分	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	5,304	5	0	0	452	60	44	754	12	43	3,624	310
0～2時	207	0	0	0	4	0	0	24	1	2	171	5
2～4時	188	0	0	0	6	0	0	19	1	3	151	8
4～6時	217	0	0	0	9	3	0	20	1	2	178	4
6～8時	423	0	0	0	42	1	0	64	0	3	310	3
8～10時	634	1	0	0	70	8	3	90	0	11	423	28
10～12時	652	0	0	0	42	16	13	115	2	3	394	67
12～14時	588	2	0	0	53	9	9	63	0	1	388	63
14～16時	540	0	0	0	51	10	11	98	1	7	329	33
16～18時	564	1	0	0	57	11	4	92	1	5	356	37
18～20時	572	1	0	0	66	1	3	81	0	2	383	35
20～22時	413	0	0	0	31	1	1	49	1	1	307	22
22～24時	306	0	0	0	21	0	0	39	4	3	234	5

傷 病 程 度 別 搬 送 人 員

平成28年中

傷病程度 事故種別	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	合 計
急 病 (構成比：%)	62 (1.8)	119 (3.4)	1,096 (31.8)	2,173 (63.0)	0 (0.0)	3,450 (100.0)
交 通 事 故 (構成比：%)	1 (0.2)	15 (3.3)	105 (23.1)	333 (73.3)	0 (0.0)	454 (100.0)
一 般 負 傷 (構成比：%)	1 (0.1)	19 (2.5)	161 (21.5)	567 (75.8)	0 (0.0)	748 (100.0)
そ の 他 (構成比：%)	3 (0.7)	31 (7.5)	254 (61.8)	123 (29.9)	0 (0.0)	411 (100.0)
合 計 (構成比：%)	67 (1.3)	184 (3.6)	1,616 (31.9)	3,196 (63.1)	0 (0.0)	5,063 (100.0)

[備考] 傷病程度区分は次によっている。

- 1 死 亡 初診時において死亡が確認されたもの。
- 2 重 症 傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
- 3 中等症 傷病程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの。
- 4 軽 症 傷病程度が入院を必要としないもの。
- 5 その他 医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したものの。

年 齢 区 分 別 搬 送 人 員

平成28年中

事故種別 年齢区分	急 病	交通事故	一般負傷	その他	合 計	救急搬送率 (%)	
新 生 児 (構成比：%)	1 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (1.9)	9 (0.2)	3.3	
乳 幼 児 (構成比：%)	156 (4.5)	8 (1.8)	51 (6.8)	10 (2.4)	225 (4.4)		
少 年 (構成比：%)	87 (2.5)	56 (12.3)	32 (4.3)	37 (9.0)	212 (4.2)	1.6	
成 人 (構成比：%)	906 (26.3)	268 (59.0)	126 (16.8)	164 (39.9)	1,464 (28.9)	2.0	
高 齢 者	65～74歳 (構成比：%)	665 (19.3)	68 (15.0)	122 (16.3)	63 (15.3)	918 (18.1)	4.6
	75歳以上 (構成比：%)	1,635 (47.4)	54 (11.9)	417 (55.7)	129 (31.4)	2,235 (44.1)	12.7
	小 計	2,300 (66.7)	122 (26.9)	539 (72.1)	192 (46.7)	3,153 (62.3)	8.6
合 計 (構成比：%)	3,450 (100.0)	454 (100.0)	748 (100.0)	411 (100.0)	5,063 (100.0)	/	

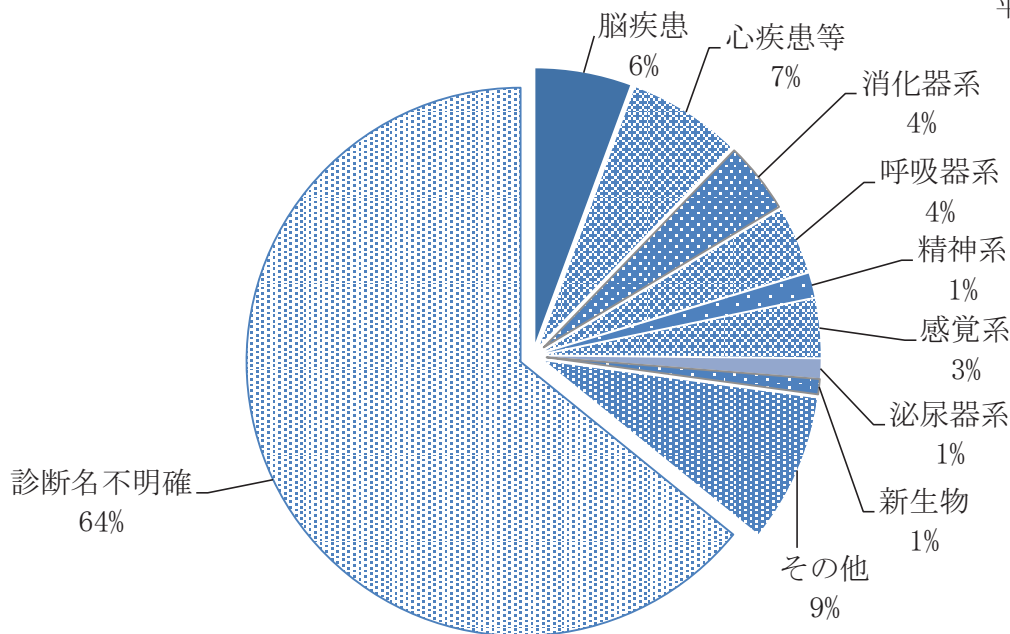
[備考] 年齢区分は次によっている。

- 1 新生児 生後28日未満の者
- 2 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
- 3 少年 満7歳以上満18歳未満の者
- 4 成人 満18歳以上満65歳未満の者
- 5 高齢者 満65歳以上の者

[備考] 救急搬送率は年齢区分別の総人口のうち救急搬送された人員の割合

急病にかかる疾病分類別搬送人員調

平成28年中



疾病分類別	脳疾患	心疾患等	消化器系	呼吸器系	精神系	感覚系	泌尿器系	新生物	その他	診断名不明確	合計
急病搬送人員	194	228	145	135	48	118	38	31	300	2,213	3,450

事故種別医療機関別搬送人員調

平成28年中

告示の別等	事故種別等 区分	急病		交通事故		一般負傷		その他		合計		
		うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	うち管内	うち管外	
救急医療機関	国立	23	23	4	4	4	4	12	12	43	43	
	公立	3,100	11	375	16	681	1	278	4	4,434	32	
	公的	12	12	3	3	0	0	12	12	27	27	
	私的	病院	291	255	70	67	59	46	94	89	514	457
		診療所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3,426	301	452	90	744	51	396	117	5,018	559		
その他の医療機関	国立	7	7	0	0	0	0	1	1	8	8	
	公立	2	2	0	0	0	0	5	5	7	7	
	公的	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	私的	病院	12	3	1	0	3	0	5	5	21	8
		診療所	3	0	1	0	1	1	4	0	9	1
計	24	12	2	0	4	1	15	11	45	24		
合計	国立	30	30	4	4	4	4	13	13	51	51	
	公立	3,102	13	375	16	681	1	283	9	4,441	39	
	公的	12	12	3	3	0	0	12	12	27	27	
	私的	病院	303	258	71	67	62	46	99	94	535	465
		診療所	3	0	1	0	1	1	4	0	9	1
計	3,450	313	454	90	748	52	411	128	5,063	583		
その他の場所	接骨院等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		3,450	313	454	90	748	52	411	128	5,063	583	

救急隊員の行った応急処置状況

平成28年中

区 分	合 計	急 病	交 通	一 般 負 傷	そ の 他 *
合 計	16,528	11,278	1,868	2,130	1,252
止 血	78	9	7	51	11
固 定	430	19	307	73	31
人 工 呼 吸	65	53	1	2	9
心 マ ッ サ ー ジ	0	0	0	0	0
心 肺 蘇 生	124	110	2	5	7
酸 素 吸 入	1,003	650	196	56	101
気 道 確 保	224	187	7	10	20
経鼻エアウェイ	5	5	0	0	0
異 物 除 去	18	13	1	3	1
ラリゲアルマスク等	18	16	1	1	0
気 管 挿 管	1	1	0	0	0
保 温	246	125	68	39	14
被 覆	241	17	43	147	34
在 宅 療 法 継 続	110	94	1	11	4
除 細 動	13	13	0	0	0
静 脈 路 確 保	36	33	0	1	2
う ち CPA 前	4	2	0	0	2
う ち CPA 後	32	31	0	1	0
薬 剤 投 与	22	22	0	0	0
そ の 他	66	40	6	13	7
血 圧 測 定	4,815	3,278	448	707	382
心 音・呼 吸 音 聴 取	1,253	916	187	80	70
血 中 酸 素 飽 和 度 測 定	4,932	3,349	452	732	399
心 電 図	2,866	2,360	143	202	161
血 糖 測 定	3	2	0	1	0
エ ピ ペ ン 投 与	0	0	0	0	0
ブ ド ウ 糖 投 与	1	1	0	0	0

*その他は急病・交通・一般負傷以外の種別をいう。

応急手当普及啓発実施状況

年度 \ 種別	救命講習		上級救命講習		応急手当講習	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
平 成 5 ～ 19 年 度	853	22,367	28	536	250	9,346
平 成 20 年 度	125	3,111	2	49	19	662
平 成 21 年 度	112	3,045	2	34	20	1,353
平 成 22 年 度	96	2,455	2	34	13	867
平 成 23 年 度	104	2,760	2	35	18	963
平 成 24 年 度	143	3,879	2	44	18	809
平 成 25 年 度	113	3,216	3	41	11	305
平 成 26 年 度	149	3,660	2	36	2	410
平 成 27 年 度	144	3,996	3	71	11	340
平 成 28 年 度	138	3,945	2	29	3	212
合 計	1,977	52,434	48	909	365	15,267

救命率の推移

(%)

区 分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
瀬戸市	55.6	50.0	50.0	40.0	16.7
愛知県	31.6	35.6	34.1	34.6	
全 国	21.5	22.4	23.0	28.4	

※ 救命率とは、①目撃のある突然心肺停止である、②除細動が必要な心電図波形（Vf・脈のないVT）である救急患者を救急搬送し、1か月後に社会復帰できた割合をいう。

※ 平成28年中の愛知県及び全国の「救命率」は平成29年6月現在未発表

バイスタンダーCPR実施状況

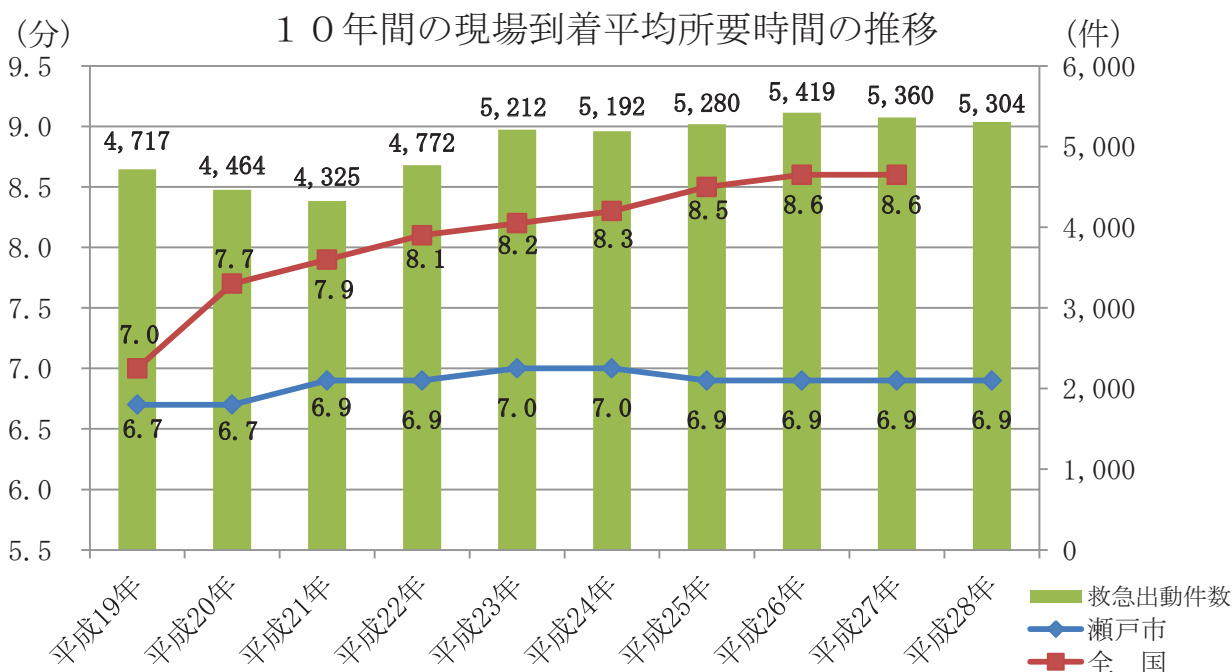
項 目	平成24年			平成25年			平成26年			平成27年			平成28年			
	発生 件数	実施 件数	実施率 (%)	発生 件数	実施 件数	実施率 (%)	発生 件数	実施 件数	実施率 (%)	発生 件数	実施 件数	実施率 (%)	発生 件数	実施 件数	実施率 (%)	
目撃	あり	47	25	53.2	52	37	71.2	41	26	63.4	51	36	70.6	44	28	63.6
	なし	93	58	62.4	77	57	74.0	88	59	67.0	87	61	70.1	78	51	65.4
	合計	140	83	59.3	129	94	72.9	129	85	65.9	138	97	70.3	122	79	64.8

※ バイスタンダーCPRとは「救急現場に居合わせた人が行う心肺蘇生法」をいう。

AEDステーション認定事業所数

瀬戸市AEDステーション認定制度により、AED（自動体外式除細動器）を設置の上、万が一に備え応急救護体制が整備されている事業所等を「せとAEDステーション」として認定しています。（平成19年12月14日制度開始）

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	合計
認定数	61	8	5	7	19	11	5	40	19	7	182

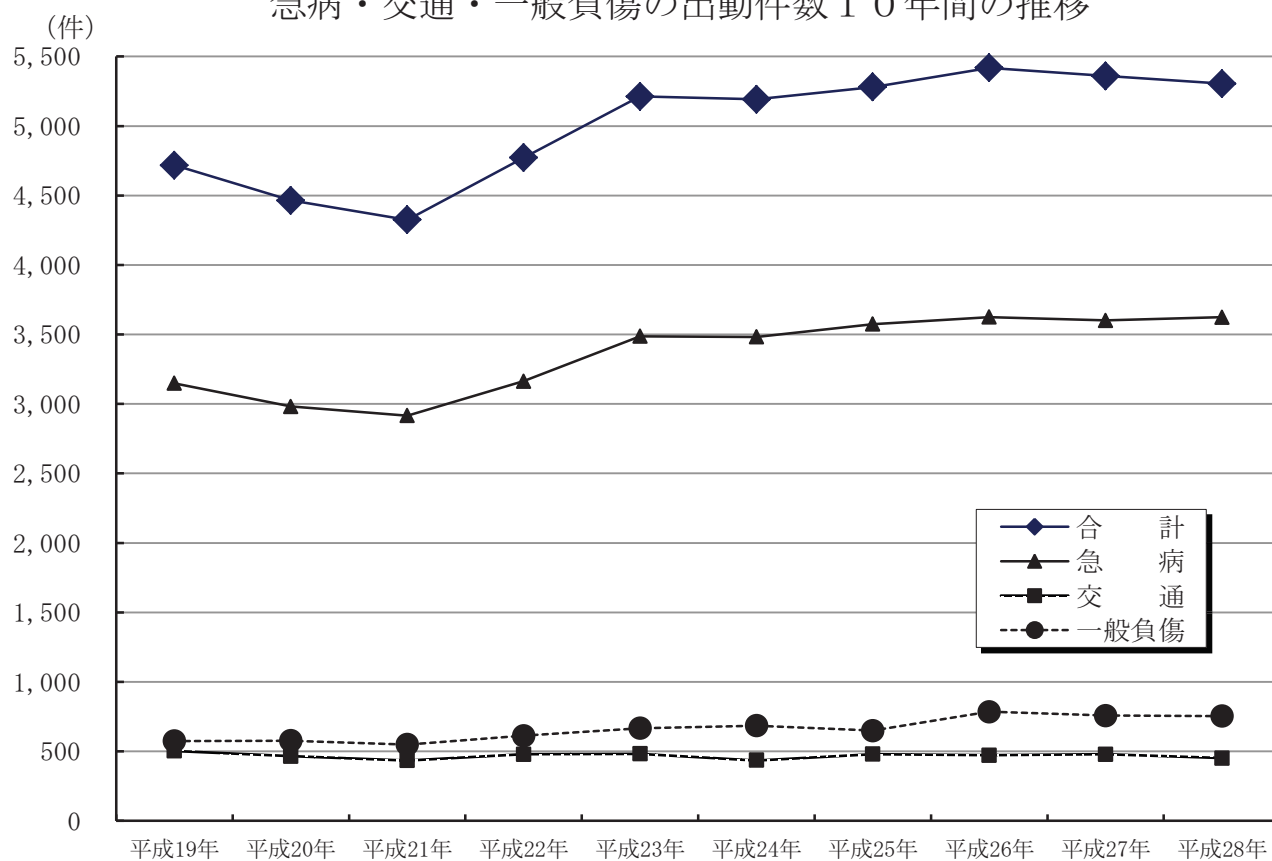


※ 平成28年中の全国の現場到着平均所要時間は平成29年6月現在未発表

10年間の救急出動件数

区分 年 別	合 計	火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他	他 からの 消防本部 応援
平成19年	4,717	9	0	0	503	40	27	575	25	68	3,149	321	3
平成20年	4,464	9	0	0	465	48	30	577	22	53	2,981	279	5
平成21年	4,325	7	0	0	434	41	31	549	33	43	2,916	271	6
平成22年	4,772	1	0	2	479	53	38	613	22	52	3,164	348	12
平成23年	5,212	9	0	1	482	47	57	667	30	61	3,487	371	17
平成24年	5,192	2	0	0	437	58	32	685	33	46	3,482	417	5
平成25年	5,280	7	0	0	480	39	46	650	21	51	3,574	412	20
平成26年	5,419	5	0	0	472	35	35	785	16	36	3,625	410	44
平成27年	5,360	6	0	0	479	48	39	758	22	36	3,601	371	26
平成28年	5,304	5	0	0	452	60	44	754	12	43	3,624	310	23

急病・交通・一般負傷の出動件数10年間の推移



事 故 別 救 助 出 動 状 況

平成28年中

区 分	合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 害 等 災 害 等	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ 斯 及 び 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	
		建 物	建 物 以 外									
出 動 件 数	54	1	0	17	0	0	1	25	0	0	10	
活 動 件 数	27	1	0	4	0	0	1	16	0	0	5	
救 助 人 員	26	2	0	4	0	0	1	14	0	0	5	
出 動 人 員	772	28	0	258	0	0	16	334	0	0	136	
出 動 車 両	救助工作車	48	0	0	16	0	0	1	23	0	0	8
	ポンプ車	64	4	0	21	0	0	2	26	0	0	11
	はしご車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	化学車	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	指揮車	54	1	0	17	0	0	1	25	0	0	10
	救急車	62	2	0	23	0	0	1	26	0	0	10
	その他	10	1	0	2	0	0	0	4	0	0	3
	合 計	238	8	0	79	0	0	5	104	0	0	42

連 区 別 救 助 出 動 件 数

平成28年中

区 分	合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 水 害 等 災 害 等	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ 斯 及 び 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
		建 物	建 物 以 外								
合 計	54	1	0	17	0	0	1	25	0	0	10
道 泉	6						1	4			1
深 川	1										1
古 瀬 戸	2			1				1			
東 明	4			2							2
祖 母 懐	1							1			
陶 原	3			1				1			1
長 根	3			1				2			
效 範	4			2				2			
水 南	4			1				3			
水 野	6			1				3			2
西 陵	1							1			
原 山 台	2							2			
萩 山 台	0										
八 幡 台	1							1			
品 野	3			1				1			1
下 品 野	2			1				1			
山 口	4			2				1			1
本 地	1										1
菱 野	2	1		1							
新 郷	3			2				1			
管 外	1			1							

発 生 場 所 別 救 助 人 員

平成28年中

区 分		合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 災 風 水 害 等	よ る 機 械 に 事 故	よ る 建 物 等 に 事 故	酸 ガ ス 及 び 欠 事 故	破 裂 事 故	事 故 そ の 他 の
			建 物	建 物 以 外								
合 計		26	2	0	4	0	0	1	14	0	0	5
屋 内	住 居	13	2	0	0	0	0	0	11	0	0	0
	そ の 他 の 屋 内	3	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0
屋 路	高 速 道 路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他 の 道 路	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
外	水 面	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	山 岳	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	そ の 他 の 屋 外	4	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
地 下		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

10年間の救助出動件数

区 分	合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 風 災 風 水 害 等	よ る 機 械 に 事 故	よ る 建 物 等 に 事 故	酸 ガ ス 及 び 欠 事 故	破 裂 事 故	事 故 そ の 他 の
		建 物	建 物 以 外								
平 成 19 年	42	0	0	25	0	0	3	5	0	0	9
平 成 20 年	51	3	0	20	0	0	0	14	1	0	13
平 成 21 年	47	0	0	28	0	0	1	9	1	0	8
平 成 22 年	48	1	0	19	2	0	2	10	1	0	13
平 成 23 年	62	1	0	22	2	0	8	16	0	0	13
平 成 24 年	71	2	0	22	1	0	4	23	0	0	19
平 成 25 年	67	1	1	30	1	0	1	21	1	0	11
平 成 26 年	71	0	0	30	0	0	1	23	0	0	17
平 成 27 年	72	1	0	20	0	0	3	34	3	0	11
平 成 28 年	54	1	0	17	0	0	1	25	0	0	10

第6編

通信・気象

消防指令センターの主な施設状況

平成29年4月1日現在

施 設 名	数	施 設 名	数
指令台(Ⅱ型)	1式	自動出動指定装置	1式
地図等検索装置	1式	指令電送送信装置	1式
非常用指令設備	1式	Eメール指令装置	1式
FAX指令送信装置	1式	音声合成装置	1式
順次指令装置	1式	電源装置	1式
録音装置	1式	災害状況等案内装置	1式
出動車両運用管理装置(Ⅲ型)	1式	データ修正装置	1式
位置情報通知システム(統合型)	1式	無線統制台	1式
119番通報受信用ファクシミリ	1台	駆け込み通報装置	1式
119番プロトコール装置	2式	システム監視装置	1式
車両運用表示盤	1式	総合情報表示盤	1式
多目的大型表示装置	1式	消防用高所カメラ装置	1式
消防用高所カメラ画像表示盤	1式	消防庁舎監視カメラ装置	1式
消防情報支援システム	1式	気象情報収集装置	1式
ファイル共有システム	1式	衛星携帯電話	1台
県救急医療情報システム端末装置	1式	県防災行政無線設備	1式
県震度情報ネットワーク端末装置	1式	あんしん電話装置	1式
eメール119番受信用装置	1式		

月別119番受信状況(受信時の種別)

平成28年中

種別	月別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計		7,022	560	587	575	521	598	536	569	634	589	618	634	601
火 災		71	6	18	10	5	7	3	0	5	4	4	0	9
救 急		5,284	443	427	449	386	440	399	460	456	408	460	451	505
救 助		48	7	5	2	8	2	0	4	6	1	6	3	4
警 戒		64	12	9	2	6	1	5	2	4	7	4	5	7
災 害		1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
問 い 合 わ せ		295	18	21	26	21	22	18	27	41	25	34	27	15
い た ず ら		22	5	1	0	0	1	1	2	3	2	4	2	1
誤 操 作 他		539	50	51	36	43	47	40	49	45	64	46	41	27
訓 練		379	8	30	29	30	33	49	15	19	41	42	58	25
試 験		319	11	25	21	22	45	20	10	55	37	18	47	8

無線施設状況

(消防署)

平成29年4月1日現在

署所	型式	種別	呼出名称	装備別	周波数帯	出力	
消防署	デジタル	防災行政用	ぼうさいせとしょうぼう	指令センター	400MHz	5W	
		消防用基地局	せとあさひしれい		260MHz 活動波1・2・3 主運用波	10W	
					260MHz 統制波1・2・3	5W	
		消防用陸上移動局	車載型	せと 1	ポンプ車	260MHz 活動波1・2・3 統制波1・2・3	10W
				せと 2	タンク車		
				せと 3	化学車		
				せと 10	ポンプ車		
				せと 32	梯子車		
				せと 43	救助車		
				せと 51	指揮車		
				せと 52			
				せと 53			
				せと 54			
				せと 55	広報車		
				せと 61			
				せと 64	輸送車		
				せと 71			
				せと 73			
				せと 74			
		可搬型	きゅうきゅうせと 2	救急車	消防課		
			せと 81	消防署			
		携帯型	せと 100	携帯用	救急車		
			せと 101				
せと 102							
せと 110							
せと 111							
せと 112							
せと 121							
せと 299							
アナログ	署活動用無線	携帯型	せと400番台19機	携帯用	400MHz	1W	

(東分署)

署所	型式	種 別		呼出名称	装備別	周波数帯	出力
東分署	デジタル	消防用陸上移動局	車載型	せと 6	タンク車	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	10W
				せと 8	ポンプ車		
				せと 75	輸送車		
				せと 76	査察車		
				せと 77	水槽車		
				きゅうきゅうせと 3	救急車		
			携帯型	せと 83	東分署		
				せと 210	携帯用		
				せと 211			
				せと 212			
	せと 221						
	せと 399	救急車					
アナログ	署活動用無線	携帯型	せと500番台11機	携帯用	400MHz	1W	

(南分署)

署所	型式	種 別		呼出名称	装備別	周波数帯	出力
南分署	デジタル	消防用陸上移動局	車載型	せと 5	タンク車	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	10W
				せと 9	ポンプ車		
				せと 31	空中活動車		
				せと 62	広報車		
				せと 72	積載車		
				きゅうきゅうせと 5	救急車		
			携帯型	せと 84	南分署		
				せと 310	携帯用		
				せと 311			
				せと 312			
	せと 321						
	せと 599	救急車					
アナログ	署活動用無線	携帯型	せと600番台11機	携帯用	400MHz	1W	

(救急対策室)

型式	種 別		呼出名称	装備別	周波数帯	出力
救急対策室	デジタル	消防用陸上移動局	車載型	きゅうきゅうせと 1	救急車	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3
			可搬型	せと 85	救急対策室	
			携帯型	せと 131	携帯用	
	せと 199	救急車				
アナログ	署活動用無線	携帯型	せと400番台3機	救急車	400MHz	1W

(長大トンネル)

型式	種 別		呼出名称	装備別	周波数帯	出力
愛岐トンネル 猿投山トンネル	デジタル	消防用基地局	せとしょうぼう あいぎとんねる せとしょうぼう さなげやまとんねる	無線通信補助設備	260MHz	5W

(消防団)

署所	型式	種 別		呼出名称	装備別	周波数帯	出力
消防団	デジタル	消防用陸上移動局	携帯型	せとどうせん 1	携帯用	260MHz 活動波1・2・3 主運用波 統制波1・2・3	5W
				せとふかがわ 1			
				せとこせと 1			
				せとどうめい 1			
				せとそぼかい 1			
				せととうげん 1			
				せとこうはん 1			
				せとすいなん 1			
				せとみずの 1			
				せともしなの 1			
				せとしなのだい 1			
				せとはたやま 1			
				せとやまぐち 1			

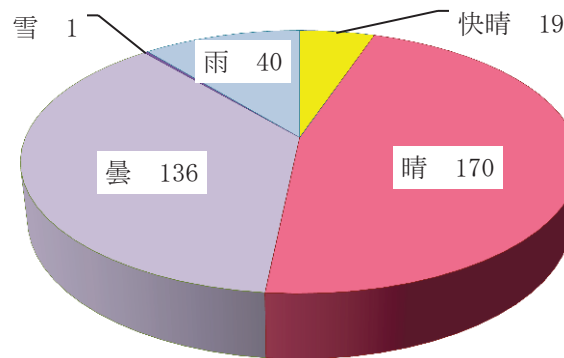
月別気象状況

平成28年中

項目	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	年間平均
風向	平均	NNW	NNW	NW	NW	S	S	S	S	NNE	NNW	NNW	NNW		2.1
	最高	1.9	2.3	2.5	2.5	2.4	2.1	1.8	2.0	1.8	1.8	1.9	2.0		
風速	最高	WNW	NNW	NW	SSE	SSE	NNW	SSE	ESE	ENE	NNW	NNW	NNW		
	m/s	9.5	10.0	9.5	11.7	10.0	8.9	7.5	9.0	9.1	8.9	9.2	10.3		
瞬間最大	瞬間最大	WNW	NW	NW	SSE	SSE	NNW	NNW	ESE	ENE	NNW	NNW	NNW		
	m/s	17.1	17.9	18.2	20.2	17.5	15.0	16.4	15.0	18.1	15.9	16.5	18.0		
気温	平均	5.0	5.8	9.9	15.3	20.1	22.4	26.6	28.1	24.9	19.2	12.0	7.6		16.4
	最高	14.4	21.8	21.7	26.6	33.1	33.3	35.9	38.1	34.5	29.8	21.5	18.6		
	最低	-5.4	-3.7	-1.9	2.6	11.5	12.7	20.3	19.6	16.4	8.9	2.2	-0.7		
湿度	平均	71.9	66.8	64.6	71.1	73.6	74.7	74.5	73.8	82.6	73.8	72.2	69.3		72.4
	%	27.4	24.7	15.5	18.6	21.6	16.9	22.2	34.1	30.8	23.3	32.7	27.2		
降雨	降水日数	5	5	6	11	13	17	7	11	15	10	10	7	117	
	総降水量	53.0	63.5	104.0	157.0	131.5	210.5	131.5	202.5	288.5	143.5	84.5	97.5	1,668	
	10分間最大	1.0	4.0	4.0	5.5	4.0	7.5	6.5	19.0	8.0	5.5	2.0	5.0		
	1時間最大	4.5	7.5	16.0	25.0	12.5	28.5	15.5	59.0	21.0	14.0	5.0	13.0		
	最大日雨量	25.0	24.0	49.5	44.5	28.5	61.0	55.0	89.5	89.5	39.5	26.0	43.0		
降雪	降雪日数	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	総積雪量	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	
	最高積雪	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

天候別日数計

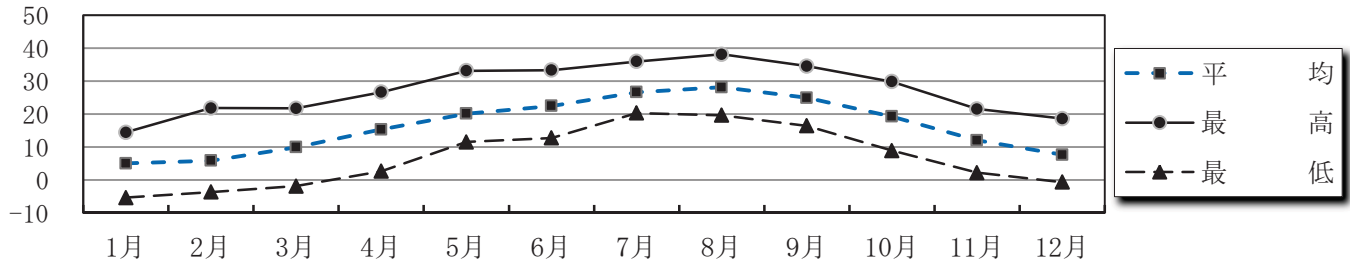
平成28年中
観測9時
単位：日



(°C)

月別気温状況

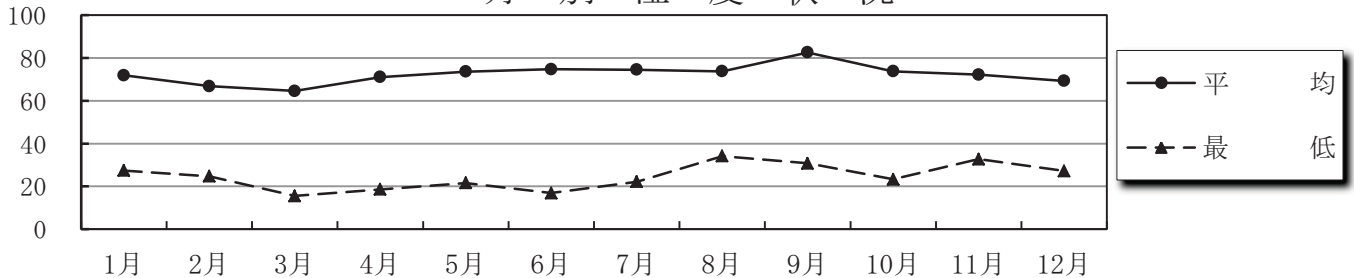
平成28年中



(%)

月別湿度状況

平成28年中



第7編

資料

消 防 本 部 の 沿 革

明治 23 年 5 月	東春日井郡瀬戸村に 2 部編成定員 1 0 0 名をもって消防組を発足
明治 27 年 2 月	勅令及び県令により公設消防を組織し、瀬戸町せ組・と組で構成
明治 29 年 7 月	今村地区に私設消防組を設立
明治 39 年	幡山村に私設消防組を設立
大正 2 年	瀬戸町せ組・と組を公設消防第 1 部・第 2 部に改称（水野村に私設消防組設立、品野村に消防組を編成）
大正 7 年	瀬戸町公設消防組に第 3 部を増加編成
大正 12 年 2 月	水野村上水野消防組が公設消防組に認可
大正 14 年	赤津村公設消防組を瀬戸町公設消防組に編入し、第 4 部に増加編成
大正 15 年 12 月	水野村中水野、下水野消防組が公設消防組に認可、安土・南山・曾野私設消防組編成
昭和 4 年 10 月	市制施行に伴い瀬戸市消防組と改編、4 部 1 0 8 名で構成
昭和 14 年 4 月	瀬戸市警防団本部常備消防部として発足し、警防団 6 分団、総員 9 0 0 名、消防ポンプ車 5 台、三輪ポンプ車 1 台、腕用ポンプ 5 台を配備、戦中は防空業務に活躍
昭和 22 年 10 月	警防団本部常備消防部を解散し、同時に瀬戸市常備消防部として発足、業務開始
昭和 26 年 5 月	東春日井郡水野村との合併に伴い、水野村消防団を統合
8 月	瀬戸市消防本部設置
昭和 28 年 2 月	集中豪雨による防災活動の功績により、建設大臣表彰を受ける。
4 月	隣接品野町の大火による応援消防活動の功績により、愛知県消防協会会長表彰を受ける。
昭和 30 年 2 月	愛知県幡山村との合併に伴い、幡山村消防団を統合
昭和 32 年 2 月	消防施設の充実により、日本消防協会会長表彰を受ける。
4 月	瀬戸市危険物安全協会設立
昭和 33 年 1 月	集中豪雨による防災、人命救助活動等の功績により、愛知県消防協会会長表彰で竿頭綬を受ける。
3 月	同上により、国家消防本部長表彰を受ける。
昭和 34 年 1 月	自治体消防発足 1 0 周年記念により、愛知県消防協会会長表彰で竿頭綬を受ける。
4 月	品野町との合併に伴い、品野町消防団を統合
7 月	瀬戸市消防音楽隊を発足
10 月	消防中短波無線局の設置（基地 1、移動 2、携帯 2）
12 月	伊勢湾台風（1 5 号）の復旧活動の功績により、中部日本災害対策本部長表彰を受ける。
昭和 35 年 4 月	消防団 1 団、1 3 分団 3 2 9 名で構成
9 月	瀬戸市消防署設置
昭和 36 年 4 月	常備消防力の増強を図り、1 3 分団 2 8 9 名に減員
6 月	ロータリークラブより 1 B 型救急車の寄贈を受け、救急業務を開始
昭和 37 年 3 月	消防庁告示による常設中心主義を目標とし、消防庁舎新築工事着手
4 月	瀬戸市火災予防条例の施行
10 月	消防庁舎竣工
昭和 40 年 3 月	瀬戸信用金庫から 1 B 型救急車の寄贈を受け、2 台体制による業務開始
8 月	中短波無線を超短波無線に更新（基地 1、移動 3）
9 月	市役所の愛知県行政無線を消防本部に移管
昭和 41 年 4 月	消防団の定員を 1 2 分団 2 6 7 名に減員
昭和 43 年 1 月	化学消防ポンプ自動車配備
5 月	瀬戸市指定水利規程の施行
6 月	瀬戸市火災警報規則の施行
昭和 44 年 3 月	消防力の充実により、消防庁長官から竿頭綬を受ける。
昭和 45 年 4 月	消防署救助隊の発足
9 月	防災体制の確立、防災思想の普及等の功績により、消防庁長官表彰を受ける。
昭和 46 年 9 月	市内で発生した都市ガス漏洩事故の災害防ぎょ活動の功績により、消防庁長官表彰を受ける。
11 月	同上により、愛知県知事表彰を受ける。
12 月	新消防庁舎新築工事着手
昭和 47 年 8 月	新消防庁舎竣工 消防本部、消防署は新庁舎に移転し、旧庁舎は東分署として消防業務開始 1 5 m 級屈折梯子付消防ポンプ車を本署に配備
昭和 48 年 5 月	瀬戸尾張旭当直医問い合わせテレホンサービスの開始

昭和 49 年	2 月	救助工作車を東分署に配備
	4 月	消防本部に総務課を設置
	6 月	愛知県防災行政無線の整備計画による防災行政無線装置の更新工事完了
昭和 50 年	10 月	定光寺に火気使用制限区域の設定
	12 月	保育器の使用による未熟児搬送に関し、瀬戸旭医師会と救急業務実施協定の締結
昭和 52 年	6 月	瀬戸信用金庫から 2 B 型救急車の寄贈を受け、東分署に配備
	7 月	瀬戸市自衛消防連絡協議会設立
	11 月	3 0 m 級梯子付消防ポンプ車を消防署に配備 1 5 m 級屈折梯子付消防ポンプ車を東分署に配備
昭和 53 年	3 月	自治体消防発足 3 0 周年記念大会の開催 瀬戸社会福祉事業協力会から査察車兼広報車（軽四輪）の寄贈を受け、消防署に配備
昭和 54 年	12 月	消防救急指令装置 B 型及び地図検索装置の導入
昭和 55 年	10 月	消防水利整備計画に耐震性貯水槽（4 0 m ³ ）の設置を策定
昭和 56 年	9 月	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ車（給水装置付）の寄贈を受け、消防署に配備
	10 月	日本消防協会から 2 B 型救急車の寄贈を受け、消防署に更新配備 消防署三部制勤務の試行開始
昭和 58 年	4 月	消防署三部制勤務の開始 小型動力ポンプ積載車を定光寺町自警団に配備
	10 月	化学消防ポンプ車を東分署に配備し、旧車両を消防署に配備
昭和 59 年	3 月	大型照明電源車を消防署に配備
昭和 60 年	3 月	水南分団詰所を移転新築
	8 月	現場指揮本部等の体制強化を図るため、消防署に指令車を増強配備
	10 月	陶原分団詰所を移転新築
昭和 61 年	6 月	愛知県防災行政無線の災害通信メディア体系を整備し、防災行政事務に関する通信網を改善
	12 月	火災救急統計用のパソコンを導入
昭和 62 年	1 月	上品野分団を品野台分団に名称変更
	2 月	火災情報テレホンサービスの開始
昭和 63 年	3 月	品野台分団詰所を移転新築 防火思想の普及、消防施設の整備等の功績により、消防庁長官から表彰旗を受ける。
平成 元 年	3 月	自治体消防発足 4 0 周年記念大会の開催
	4 月	瀬戸市婦人消防隊連絡協議会設立
	10 月	品野町 1 丁目に東分署移転新築、旧庁舎は南出張所として消防業務を開始
平成 2 年	3 月	消防緊急情報システムの運用開始 救急波消防無線の導入整備
	11 月	第 8 回愛知県防火推進大会の開催
平成 3 年	2 月	団資機材搬送車を水野分団に配備
	3 月	南出張所を南分署に名称変更、南分署庁舎新築
	10 月	団資機材搬送車を幡山分団に配備 救助工作車を消防署に配備し、旧車両を東分署に配備
	11 月	3 8 m 級梯子付消防自動車を消防署に配備し、旧車両を南分署に配備 消防団が消防活動の充実等の功績により、愛知県消防協会長から特別功績旗を受ける。
平成 4 年	3 月	東明分団詰所を移転新築
	7 月	団資機材搬送車を東明分団に配備
	10 月	消防署指令車を更新配備 1 8 m 級梯子付消防自動車を東分署に更新配備 第 8 回全国婦人消防練法大会に愛知県代表として瀬戸市婦人消防隊が出場（横浜市）
平成 5 年	4 月	消防本部に予防課、消防署に救急係を設置
	9 月	救急高度化推進計画に基づき、高度化資器材の一部を配備
	10 月	水 II 型消防ポンプ自動車を本署に更新配備
平成 6 年	2 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を水野分団に更新配備
	3 月	団資機材搬送車を下品野分団に配備
	4 月	東分署に救急係を設置
	7 月	第 3 9 回愛知県消防練法大会を市民公園陸上競技場で開催
	11 月	水 II 型消防ポンプ自動車を南分署に更新配備

平成 7 年	2 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を幡山分団に更新配備
	10 月	高規格救急車を消防署に更新配備 防災資機材地域備蓄倉庫新築
平成 8 年	1 月	自衛消防隊と大規模災害時における消防業務協定締結（19 事業所）
	2 月	普通救命講習会の実施
	3 月	水Ⅱ型消防ポンプ自動車を東分署に更新配備
	12 月	高規格救急車を東分署に更新配備
平成 9 年	1 月	下品野分団詰所を新築
	4 月	南分署に救急係を設置
	12 月	30m級梯子付消防自動車を南分署に更新配備
平成 10 年	1 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を祖母懐分団に更新配備
	9 月	自治体消防発足 50 周年記念大会の開催 高規格救急車を南分署に更新配備
平成 11 年	11 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を深川分団に更新配備
	12 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を東分署に更新配備
平成 12 年	4 月	瀬戸市少年消防クラブ設立
	5 月	二市一町救急業務連絡協議会の設立
	10 月	公立陶生病院にて救急隊臨床実習を開始 C D—I 型消防ポンプ自動車を南分署に更新配備 C D—I 型消防ポンプ自動車を古瀬戸分団に更新配備
	12 月	消防緊急通信指令施設を更新し、運用開始、発信地表示装置を導入 消防指揮車を消防署に更新配備
平成 13 年	1 月	消防本部庁舎の耐震工事の施工（仮眠室個室化）
	3 月	名古屋市と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
	7 月	消防本部公式ホームページの開設
	11 月	救急隊病院内臨床実習・医師救急車同乗研修（ワークステーション）の開始
平成 14 年	3 月	瀬戸市消防本部シンボルマークを「ファイ太くん」に決定 消防職員に災害情報メールの配信開始
	4 月	応急手当普及推進計画（普通救命講習目標年間 3,000 人）の開始
	5 月	消防団員に災害情報メールの配信開始
	10 月	生物・化学テロ対策として消防庁から資機材を受領（化学防護服・除染シャワー・各種検知資機材） 東分署の改修工事を施工（仮眠室個室化）
	12 月	聴覚障害者を対象に災害情報メールの配信開始
平成 15 年	2 月	C D—I 型消防ポンプ自動車を品野台分団に更新配備 消防署住民票取次ぎサービス開始 祖母懐公民館に 100m ³ 型耐震性貯水槽を設置
	3 月	祖母懐分団詰所を移転新築
	4 月	副団長 3 名制、団員入団資格を市内在住・在勤に拡大
	6 月	公立陶生病院「救急業務高度化推進業務委託契約」締結
	8 月	愛知医大「救急業務高度化推進業務委託契約」締結 救急隊包括的指示除細動運用開始
	10 月	小型動力ポンプ積載車を定光寺町自警団に更新配備 小型動力ポンプ付水槽車（10t）を東分署に配備 愛知県・瀬戸市総合防災訓練（林野火災）を実施 （2005 年日本国際博覧会東ターミナルゾーン予定地）
	12 月	瀬戸市消防団ラッパ隊発足 消防高所監視カメラ運用開始
平成 16 年	2 月	南分署の改修工事を施工（仮眠室個室化）
	3 月	「救命手当てのできる店」を発足
	10 月	二市一町救急業務連絡協議会 B C テロ災害対応訓練を実施
	11 月	市内公共施設（4 箇所）に A E D を設置（県内初）
平成 17 年	2 月	消防自動二輪車（赤バイ）を日本消防協会から寄贈を受ける（3 台） 消防自動二輪車隊（赤バイ隊）を発足 C D—I 型消防ポンプ自動車を東明分団に更新配備

	3月	女性消防団員（15名）を採用 愛知万博総合防災訓練を実施 東海環状自動車道総合防災訓練を実施（6消防本部合同） 瀬戸市消防署万博分署設置（万博期間中）
	9月	瀬戸市消防署万博分署を閉署
	10月	財団法人2005年日本国際博覧会協会から救急自動車の寄贈を受け東分署に更新配備 携帯電話による119番直接受信開始
平成18年	2月	CD-I型消防ポンプ自動車を水南分団に更新配備 災害支援消防団員（OB団員）を任命（12名）
	3月	市道拡張工事に伴い、効範分団詰所を移転新築 尾張旭市及び長久手町と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
	4月	消防本部1課体制へ移行、グループ制を導入
	5月	春日井市と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
	8月	岐阜県土岐市と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結 輸送車（パワーゲート付）を消防署に更新配備
	9月	岐阜県多治見市と消防相互応援協定に基づく境界付近の応援に関する覚書を締結
平成19年	11月	救助工作車II型を消防署に更新配備
	2月	38m級梯子付消防自動車を廃車し、30m級と18m級の梯子付消防自動車2台体制に変更
	4月	消防署グループ制を導入
	5月	特別救急隊の運用開始（毎週木曜日）
	11月	CD-I型消防ポンプ自動車を下品野分団に更新配備
平成20年	12月	瀬戸市AEDステーション認定制度創設
	8月	広報車を南分署に更新配備
	10月	輸送車（パワーゲート付）を東分署に配備
	11月	団資機材搬送車を水野分団に更新配備
平成21年	3月	水II型消防ポンプ自動車（クラスA消火泡混合装置付）を消防署に更新配備
	7月	特別救急隊の運用日拡充（火、木曜日）
	8月	査察車を東分署に更新配備
	10月	団資機材搬送車を幡山分団に更新配備
平成22年	11月	消防団安全安心パトロール開始
	2月	CD-I型消防ポンプ自動車を水野分団に更新配備
	4月	特別救急隊の運用日拡充（火、水、木、金曜日）
	7月	団資機材搬送車を東明分団に更新配備
		救急安心たまご事業を開始
	8月	高規格救急車を消防署に更新配備
平成23年	10月	ガンバレ消防団応援事業所創設
	1月	CD-I型消防ポンプ自動車を幡山分団に更新配備
	3月	水II型消防ポンプ自動車（CAFS装置付）を南分署に更新配備
	5月	特別救急隊の運用日拡充（月～金曜日） 幼年消防クラブ設立
	12月	CD-I型消防ポンプ自動車を本署に更新配備
平成24年	2月	水II型消防ポンプ自動車（CAFS装置付）を東分署に更新配備 団資機材搬送車を下品野分団に更新配備
	3月	高規格救急車を南分署に更新配備
	7月	ハートフル講座を開始
	11月	消防団訓練場を開設 わんわん消防隊結成式を開催
	12月	瀬戸・尾張旭消防指令センターの運用開始
平成25年	2月	塩草町地内に耐震性貯水槽（40t）を新設
	3月	高規格救急車を消防署に更新配備
	12月	消防団応援サポーター制度開始
平成26年	1月	新救急ワークステーション施設運用開始 塩草町地内に耐震性貯水槽（40t）を新設
	3月	消防救急デジタル無線の運用開始 空中活動消防車を南分署にはしご車の更新車両として配備
	4月	地域防災担当制を導入
	10月	御嶽山の噴火災害に係る緊急消防援助隊派遣（5名）
平成27年	2月	広報61号車を愛知県共済生活協同組合から寄贈を受ける
	3月	道泉分団詰所の竣工
	5月	瀬戸市消防団による大学生等活動認定制度開始

平成 28 年	7 月	公共施設 A E D の屋外設置開始（県内初）
	10 月	消防署全署所のオールトップ勤務開始（通信を除く） 救急ワークステーション 2 4 時間体制の運用開始
	12 月	緊急通報メール 1 1 9 番の受信業務開始
	2 月	指揮車を消防署に更新配備
	3 月	高規格救急車を東分署に更新配備 救急隊 4 名出場開始
	4 月	山口分団詰所の竣工。山口分団車及び搬送 6 号車（消防庁無償貸付）の配備
		消防署救急対策室を設置
		山口分団・女性分団の設立
	10 月	緊急消防援助隊愛知県大隊合同訓練の実施
	12 月	住宅密集区域火災における出動体制を増強
平成 29 年	2 月	深川連区無火災 1 0 0 0 日達成。市長特別感謝状の授与
	3 月	C D - I 型消防ポンプ自動車をも東分署に更新配備 深川分団詰所の竣工

消 防 相 互 応 援 協 定

消防組織法第 3 9 条第 2 項の規定に基づき、消防の相互応援について次のとおり協定を締結している。

	締 結 先 機 関 名	協定締結年月日	摘 要
愛 知 県	尾 張 旭 市	昭和27年11月28日	隣接市との応援協定
	長 久 手 市	昭和39年9月1日	〃
	春 日 井 市	昭和39年10月1日	〃
	豊 田 市	昭和43年8月1日	〃
	名 古 屋 市	昭和53年6月1日	〃
	全 市 町 村	平成2年4月1日	県内広域応援協定
	名古屋市他 2 4 消防本部 一部事務組合	平成28年3月15日	愛知県下高速道路における 消防相互応援協定
岐 阜 県 等	多 治 見 市	昭和44年2月1日	隣接市との応援協定
	土 岐 市	昭和58年1月31日	〃
	豊田市、多治見市、土岐市 可茂消防事務組合、中濃消防組合	平成17年2月25日	東海環状自動車道における 消防相互応援協定
	岡崎市、豊田市、多治見市 土岐市、可茂消防事務組合 中濃消防組合	平成28年2月13日	東海環状自動車道における 消防相互応援協定（改正）



《瀬戸市のロゴマーク・キャッチコピー》

■ロゴマークについて

瀬戸の魅力である「自然と共生しながら育まれてきたものづくり文化」「やきものづくりとも深く関わってきた里山」のイメージを伝えるコンテンツ(狛犬、椿、オオサンショウウオ、里山、瀬戸川、瀬戸焼、登り窯、窯垣)を六角形に配置しています。

■「いいもん せともん」について

「せともん」＝「瀬戸物」陶磁器の代名詞として全国的に定着している言葉。「もん」＝モノだけでなく、ヒト、コトなど、瀬戸の多様な物事を言い表しています。また、「もん」の響きが、「誇り」、「職人氣質」を感じさせ、瀬戸の気風を表しています。

平成29年版消防年報

編集 瀬戸市消防本部 消防課

発行 平成29年7月

〒489-0983 愛知県瀬戸市苗場町101

TEL 0561(85)0479(予防広報担当)

FAX 0561(21)6605

URL ▶ <http://www.city.seto.aichi.jp/bunya/toukei-nenpou/>

E-mail ▶ shobohonbu@city.seto.lg.jp